



# Web Fairy Paradise

改訂：2016/11/27

第101号

## 今月のフェアリー詰将棋

- ・ 第 85 回 WFP フェアリー作品展(再掲)
- ・ 第 86 回 WFP フェアリー作品展(再掲)
- ・ Fairy of the Forest#49
- ・ 推理将棋 詰めば都
- ・ 第 107 回推理将棋出題
- ・ 第 108 回推理将棋出題

## 結果発表

- ・ 第 106 回推理将棋出題
- ・ 詰四会 20 回記念フェアリー作品展
- ・ 詰めば都 結果速報(一乗谷酔象)

## 読み物

- ・ フェアリーとプログレと(神無太郎)



2016/11

## はじめに

---



### ひめキュンフルーツ缶

何とか100号記念号を乗り越えホッとしたのも束の間あっという間に101号発行となりました。一息つく暇もないですね。

実は先月からビッグイベントが目白押しでした。先月のWFP100号発行を皮切りに、11月9日に仕事関係の愛媛県組合の創立50周年記念式典開催。実はこの式典の実行委員長が私で、2年前から準備をしていた大イベント。続いて今月18日～20日に砥部町で開催された(書いている時点では開催されている)バドミントン日本リーグ(来年の愛媛国体のプレ大会)の運営(競技主任)参加というハードな時間を過ごして来ました。とりあえず20日で一段落となりますのでホッと一息です。

そんな中、組合の50周年記念祝賀会でアトラクションをお願いしたのが「ひめキュンフルーツ缶」という松山を中心に全国で活躍するご当地アイドルでした。テレビで見る口パクで歌って踊るアイドルを想像していた私は、実際見て全力で歌って踊る彼女たちを見て考えを改めました。おじさんたちの前で笑顔で30分休みなく歌う姿は感動でしたね。一応事前準備でCD買ったり、youtubeを確認したりしましたが結局ファンになりました。さすがにコンサートに行く勇気はありませんが、活躍を期待しています。職権乱用で色紙にサインを頂いたのは内緒です。

今月号は、七郎さんの身内の方のご不幸があった関係でWFP作品展の出題、解答発表が急遽お休みとなりました。楽しみにされていた方申し訳ありませんがご了承下さい。

## 【募集】

### 作品

フェアリー作品、PG、推理将棋はそれぞれの投稿先へ投稿下さい。

### 読み物

フェアリー詰将棋に関するものに限らず日常のことも研究物でも4コマ漫画からパロディ、イラスト、マイベスト10、自己紹介、何でもOKです。

### 感想

第101号の感想、今後の要望、ご意見等なんでも結構です。是非メールにて私まで

皆様の反応が私の意欲に成りますので是非ご協力をお願いします。

読み物、感想の投稿はこちらまで

たくぼん：[takuji@dokidoki.ne.jp](mailto:takuji@dokidoki.ne.jp)

---

### 協力いただいている方々のHPアドレス

\*ご協力感謝します

#### 妖精都市

<http://www.geocities.jp/cavesfairy/>

#### 詰将棋メモ

<http://toybox.tea-nifty.com/>

#### 詰将棋おもちゃ箱

<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/>

#### Onsite Fairy Mate

<http://www.abz.jp/~k7ro/>

#### K.Komine's Home Page

<http://19900504.web.fc2.com/index.html>

#### フェアリー時々詰将棋

<http://fairypara.blog.fc2.com/>

#### 占魚亭残日録

<http://d.hatena.ne.jp/sengyotei/>

## 第85回WFP作品展(再掲)及び 第86回WFP作品展(再掲) 担当：神無七郎

大変申し訳ありませんが、急な事情により  
今月のWFP作品展は結果稿・出題稿共に休  
載させていただきます。これに伴い解答募  
集も一ヶ月先に延長します。

### 〔第85回作品展各題への補足説明〕(再掲)

第85回の出題は全12題。内訳は上谷直希氏  
2題、青木裕一氏2題、神無太郎氏2題、変寝  
夢氏5題、詰ガエル氏1題です。今回はいつも  
のような投稿順ではなく、難易度やルールの類  
似を意識して若干並び順を調整しています。ま  
た、詰ガエル氏の作品は解答に計算機が必須と  
思われるため「特別出題」としました。締切等  
は他の出題と同じです。

以下は各題への補足説明です。

**85-1** と **85-2** は上谷直希氏の作品。**85-1** は  
元々Fairy of the Forestの課題に合わせた作品  
だったのが間に合わなかったそうです。易しい  
のでまずはこの作を解いてウォーミングアップ  
をしてください。**85-2** は駒取りの時に駒の所属  
が変わってしまうAndernachルールの作品。青  
木裕一氏の投稿作も偶然同じルールだったので、  
**85-3** と **85-4** に並べて置かせて貰いました。**85-  
4** には「打歩」の条件が付いているので、最後  
は打歩詰で詰ませてください。

**85-5** と **85-6** は神無太郎氏のIsardam作品。  
駒の枚数を見ると攻方の着手はすべて「打」と  
分かりますが、それでも(特に**85-6**は)かなり  
難しいと思います。

**85-7**～**85-11** は変寝夢氏の作品。ルールは  
様々ですが、新規のルールはなく、これまでに  
WFP作品展に登場したルールか、その組み合わせ  
です。

**85-7** は受方が最大距離の応手を選ぶという  
「マキシ」ルール。これは**50-1**、**50-2**及び**61-  
3**で登場しているので参考にしてください。こ  
の作品は協力詰ではありません。最善指定があ  
るので攻方最短・受方最長のみが正解となりま  
す。

**85-8** は「リパブリカン」にGrasshopperを絡  
めた作品。受方持駒は標準駒の「残り全部」な  
ので、Grasshopperが合駒で出てくる心配はあ  
りません。

**85-9** は中立駒を使った自玉スタイルメイト。

要は攻方の駒をなくせば良いのですが、中立駒  
が残っていると攻方はそれも動かせるので、盤  
上に中立駒が残らないよう手順を組み立ててく  
ださい。

**85-10** はレトロの基本問題。フェアリー駒も  
使われていないので易しいと思います。

**85-11** は第76回から登場したOrphan。この  
時は、OrphanからOrphanへの利きの転写は登  
場しなかったのですが、今回はそれも頭に入れて  
解図してください。

**85-sp** は特別出題。詰ガエル氏の作品です。  
この作品は拡大盤の一種、「左下無限盤」を使っ  
ています。この盤は右と上には端があるのです  
が、左側と下側には無限に広がっています。攻  
方持駒はNightRider(夜)1枚。受方持駒はあ  
りません。玉は多数の穴(通過は出来るが着手  
はできない領域)に取り囲まれて出ることはで  
きません。**61**に金が落ちていますが、どうやっ  
てこれを拾うかが問題です。

ヒントとして、この作品の仕組みを少しだけ  
説明しましょう。NightRiderで11玉に王手を  
掛けるのは簡単ですし、着手位置も割と自由に  
選べます。ところが、玉が12に逃げた後も王手  
を続けようとする、初手はかなり制限されま  
す。例えば「35夜 12玉 54夜」という感じで  
すね。更に玉が13へ移動しても王手を継続す  
るには「59夜 12玉 75夜 13玉 37夜」のよ  
うに、もっと遠くに打たねばなりません。同様  
に玉が24や35に移動しても王手を続けるに  
は、初手は相当な遠距離から打たねばならな  
いことが想像できます。

作者は計算機を使用しての解答を推奨して  
いるので、遠慮なく、むしろ積極的に計算機を  
使ってください。解答表記は自由ですが、読ん  
で分かる形をお願いします。例えば101筋、201  
段目へのNightRiderの着手を(101,201)夜と表  
す方式をお勧めします。

### 〔第86回作品展各題への補足説明〕(再掲)

第86回の出題は全11題。2解を求める問題  
もあるので、実質は12題でしょうか。内訳は神  
無太郎氏4題、変寝夢氏6題、上谷直希氏1題  
です。第85回出題と同様、WFP100号の記念  
号を挟むので、解答募集期間はいつもより長  
くなっています。この期間を上手に利用して解  
答をお寄せください。

以下は各題への補足説明です。

**86-1**～**86-4** は神無太郎氏の「柑」( $\sqrt{20}$ Leaper)を使った作品。通常の倍の距離を跳ぶ駒です。**84-8** で使われた「栖」( $\sqrt{40}$ Leaper) と異なり、盤上のどこでも行き所のない駒にはなりません。見慣れない駒を詰めるのは、やはり難しいので、ヒントを出しておきましょう。**86-1** と **86-2** に出てくる合駒は大駒だけ。**86-3** と **86-4** には小駒の合駒も登場します。

**86-5**～**86-10** は変寝夢氏の作品で、前半がレトロ。後半はQ (Queen) を使った作品です。

**86-6** と **86-7** は事実上のツイン(組局)です。この2題には攻方王手義務がありません。今回はこれを「非王手可」と表していますが、これは従来「非連続王手」と表記していた条件と同じです。表記としてはどちらが分かり易いでしょうか? もちろん **86-5** には攻方王手義務があります。

**86-8** は「PWC」という、取っても原則駒が消えずに位置交換になるルールです。強力なQueenが持駒にありますが、中立駒なので、使い方が難しいですね。方針としては、例外(二歩や行き所のない駒)を使って駒を入手するか、駒を入手せずに詰めねばなりません。普通ならここでどちらかにヤマを張るのですが、この問題は2解を求める設定です。ということは…

**86-9** には持駒制限があります。それにしても手数短いですが、持駒のうち2枚は中立駒なので、これらを巧く使って最短で自玉を詰めてください。

**86-10** は簡単に詰みそうに見えますが、「ヘルプセルフ」という条件が付いています。最終手だけは受方が協力してくれません。「掌返し」に備えた手順を求めてください。

**86-11** は上谷直希氏の透明駒を使った作品。初形を見れば最終形がある程度予測できると思いますが、何しろ相手は透明駒。しっかり論理を組み立て、作意を看破してください。

## 解答要項

第85回分解答締切:2016年12月15日(木)

第86回分解答締切: **決定次第発表**

宛先: [janacek789@ybb.ne.jp](mailto:janacek789@ybb.ne.jp) (メールの件名に「解答」の語句を入れてください。)

解答メールが届かない場合は掲示板 (<http://k7ro.sakura.ne.jp/wait.html>) やブログ (<http://k7ro.sblo.jp/>) でお知らせください。

## 作品投稿について

作品投稿は随時受け付けます。(原則として毎月15日の投稿まで当月号に掲載します。)宛先は解答と同じ [janacek789@ybb.ne.jp](mailto:janacek789@ybb.ne.jp) へ。メールの件名に「作品投稿」の語句を入れてください。添付ファイルも可。機械検討済みなら出力結果のファイル添付を推奨します。

## ルール説明

※WFPのページにまとめ資料 (<http://www.dokidoki.ne.jp/home2/takuji/wfpr2015.pdf>) があるので、それも参考にしてください。

### 【協力詰】

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

### 【Andernach】

駒取りを行った駒(玉を除く)は、その場で相手の駒となる。

(補足)

- 1) 取ると二歩になる場合相手の駒にならない。
- 2) 駒の向きの転換は成生の選択の後に行われ、成生の選択権は駒を取った側にある。
- 3) 駒取りの場合に限り、8段目への桂の不成、9段目への桂香歩の不成が可能(二歩の例外を除く)。

### 【打歩】

打歩詰以外の詰手を失敗とする。(単純打歩)

### 【石】(●)

不透過・不可侵の領域を表す。

飛び越すことは可能。

3 2 1 例え左図で、  

●	●	●
角	桂	香

一 12香や11香成は不可。  
二 22角や11角は不可。  
三 11桂成や31桂成は可。

### 【Isardam】

同種の敵駒の利きに入る手を禁止する。

玉を取ると同種の敵駒の利きに入る場合は王手とみなさない。(タイプA)

成駒と生駒は別種の駒として区別する

### 【協力自玉スタイルメイト】

先後協力して最短手数で攻方をスタイルメイト(王手は掛かっていないが合法手のない状態)にする。

### 【マキシ】

受方は最長距離の着手を選ぶ。

(補足)

- ・攻方は任意の着手が可能（ただし王手義務はある）
- ・距離は将棋盤を9×9の正方格子とみなし通常の平面幾何的な距離で計算する。
- ・持駒を打つ手は距離1と定義する。

#### 【最善詰】

攻方は受方がなるべく早く詰むよう王手を掛け、受方はなるべく詰まないよう応じる。

(補足)

いわゆる普通の詰将棋から枝葉（無駄合概念や、駒が余るかどうかで手順に優劣を付ける規則）を取り除き、攻方最短を義務化したもの。攻方最短・受方最長のみが正解で、長手数数の余詰は不問。

#### 【リパブリカン】

最終手を指すと同時に任意の空きマスから一つ選んで玉を置き、詰んでいる局面を作る。

(補足)

- 1) 双玉等において詰める対象でない玉は通常の玉と同じく、最初から最後まで盤上に存在する
- 2) 詰める対象の玉は「盤上にあるが見えない」わけではなく、詰むときに盤に出現する。従って玉がどこかにいる前提での着手の合法・非合法の判定は行わない。ただし、最終手では玉を置いた後の配置で合法局面かどうかの判定を行う。
- 3) 単玉の場合最終手を除き王手義務はない。白玉系のルールのように、詰める対象の玉と王手義務の対象となる玉が異なる場合は、王手を掛けるべき玉に対する王手義務がある。

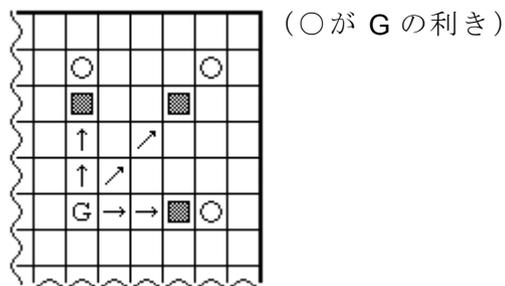
→詳しいルール説明や例題は WFP92 号「リパブリカン詰の紹介」を参照のこと。

#### 【協力白玉詰】

先後協力して最短手数で攻方の玉を詰める。

#### 【Grasshopper】(G)

フェアリーチェスの駒。クィーンの線上で、ある駒を1つ飛び越したその直後の地点に着地する。そこに敵の駒があれば取れる。



#### 【中立駒】(「n駒」あるいは「n駒」)

どちらの手番でも動かせる駒。横向きの字か横にnを付加して表記。

(補足)

- 1) 中立駒の動きは現手番の駒としての動きとなる（利きが非対称な駒の場合に要注意）
- 2) 中立駒は現手番の駒として成れる場合のみ、成ることができる
- 3) 中立駒はどちらの手番でも取ることができ、持駒になる。この時、所属は取った側の持駒だが中立性は失わず、再び盤に戻ったときには中立駒として振舞う。
- 4) 中立駒は現手番側の駒を取れない。相手側の駒や、中立駒は取れる。
- 5) 二歩禁が適用される。手番を問わず、中立駒の歩や通常の歩がある筋に、更に中立駒の歩を打つことはできない。
- 6) 中立駒は行き所ない駒にならない。
- 7) 中立駒でも白玉への王手は反則。白玉への王手となっているかどうかの判定は、現手番が終了し、相手側が着手する前に行う。→詳細は WFP61 号の「中立駒の紹介」参照。

#### 【レトロ -m+n手】

m手逆算してn手で詰む手順を求める。

(補足)

- 1) 特に注釈のない場合、逆算も攻方王手義務があることを前提とする
- 2) 協力系の場合逆算も双方が協力する

#### 【Orphan】(飴)

フェアリーチェスの Orphan。

本来は利きを持たないが、敵駒に取りを掛けられると、その駒の利きを持つ。

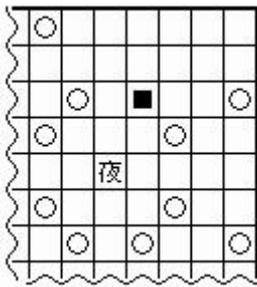
(補足)

- ・複数の駒から取りを掛けられると、それらを合成した利きになる。
- ・敵 Orphan から利きを写すこともできる。利きの転写は再帰的で、利きが増えた結果、更に多くの Orphan を巻き込み、相互に利きを増幅させることも可能。

### 【NightRider】(夜)

フェアリーチェスの NightRider。

ナイトの利きの方向に連続飛びができる。



(○がナイトライダーの利き。■に駒があるとそこから先には利かない。)

### 【左下無限盤】

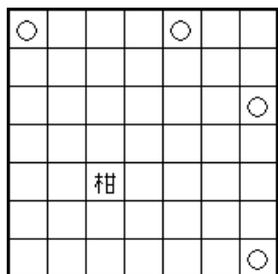
拡大盤の一種。左及び下方向に無限に広がった盤を使う。

### 【穴】(○)

着手はできないが、走り駒が通過することはできる箇所を表す。

### 【Root-20-Leaper】(柑)

(2,4)-leaper。2対4の位置に跳ぶ八方桂。



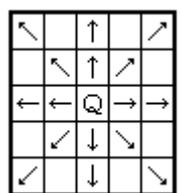
(○が柑の利き)

### 【非王手可(非連続王手)】

攻方に王手の義務がない。  
(王手をしても良い)

### 【Queen】(Q)

チェスの Queen。飛車と角を合わせた性能を持つ。



(矢印がQの走る方向)

### 【PWC】

取られた駒は取った駒が元あった場所に復元する。(駒位置の交換となる)

(補足)

戻り方等は以下の細則に従う

- 1) 駒の成・生の状態は維持されたまま位置交換される。
- 2) 位置交換の結果、相手駒が二歩になったり、行きどころのない駒になる場合は、通常の駒取りと同じで、盤上に戻らず、

自分の持駒になる。

- 3) 駒取り時、駒が戻るまでを一手と見なす。

### 【ヘルプセルフ】

最終手はどんな応手をされても目的を達成できなければならない。

### 【透明駒】

位置・種類が不明の駒。

着手の合法性、攻方王手義務を満たせる可能性があれば、それを満たしているものとして手順を進めることができる。

→詳しいルール説明は WFP83 号「透明駒の紹介」を参照のこと。

2016/11/27 追記

### WFP 作品展：年末年始の予定

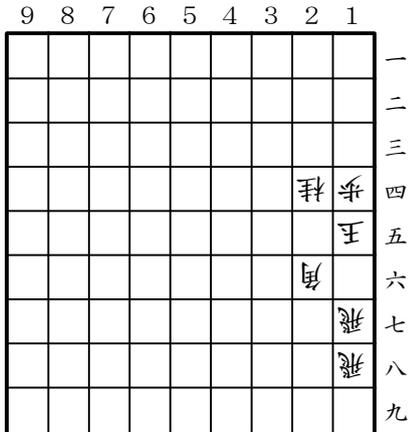
毎年1月の WFP 作品展はお休みさせていただいていますが、今回は先月分の遅れを取り戻すため、通常通り結果稿及び出題を行いたいと思います。従って直近3ヶ月の予定は以下の通りとなります。

	12月	1月	2月
第85回	結果		
第86回	再掲	結果	
第87回	出題	再掲	結果
第88回		出題	再掲

《第 85 回 WFP 作品展》（再掲）  
 解答締切：2016 年 12 月 15 日（木）

■ 85-1 上谷直希氏作

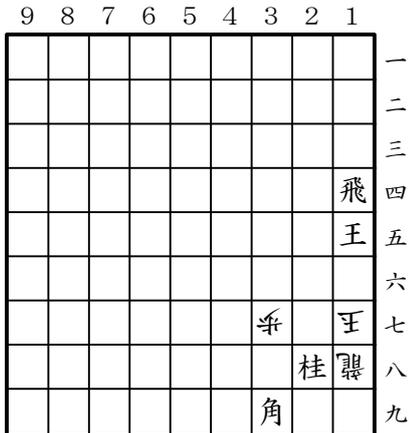
協力詰 7 手



持駒 金桂歩2

■ 85-2 上谷直希氏作

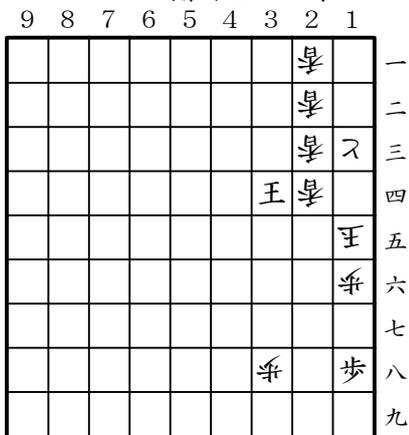
Andernach協力詰 9 手



持駒 なし

■ 85-3 青木裕一氏作

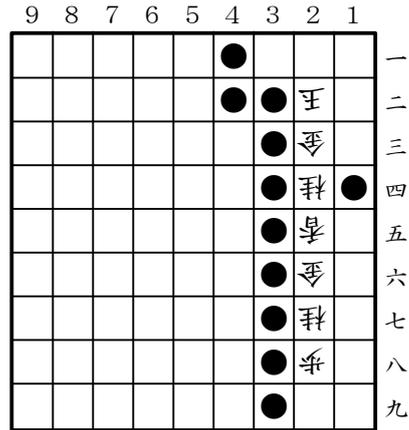
Andernach協力詰 23 手



持駒 桂4

■ 85-4 青木裕一氏作

Andernach打歩協力詰 49 手

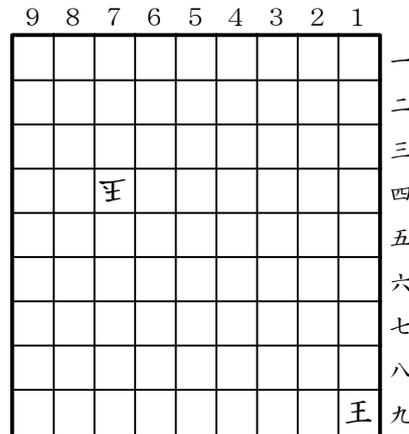


持駒 飛角

※●：石（着手不可、通過も不可）

■ 85-5 神無太郎氏作

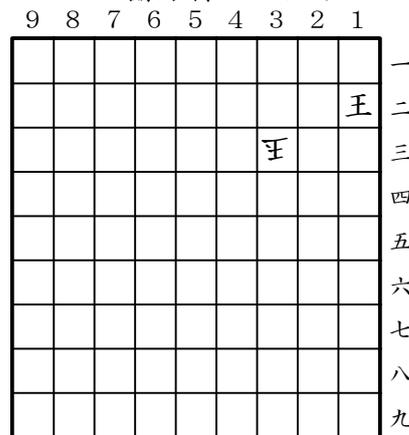
Isardam協力自玉スタイルメイト 6 手



持駒 飛角桂

■ 85-6 神無太郎氏作

Isardam協力自玉スタイルメイト 8 手



持駒 飛2角2

■ 85-7 変寝夢氏作

マキシ最善詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							王	一
								二
								三
								四
								五
								六
								七
								八
								九

持駒 飛銀

■ 85-8 変寝夢氏作

リパブリカン協力自玉詰 4手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
								三
								四
					王			五
								六
								七
								八
								九

持駒 飛G

※G: Grasshopper

■ 85-9 変寝夢氏作

協力自玉スタイルメイト 14手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
				馬				一
							王	二
					歩			三
						歩		四
								五
							歩	六
								七
								八
								九

持駒 n角2n桂2

※持駒n角及びn桂は中立駒

■ 85-10 変寝夢氏作

レトロ協力詰 -2+1手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
								三
			馬					四
			飛					五
				王				六
								七
								八
								九

持駒 なし

■ 85-11 変寝夢氏作

協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								一	
						歩	銀	王	二
									三
							銀		四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 歩

※歩: Orphan

■ 85-sp 詰ガエル氏作 **※特別出題**

左下無限盤協力詰 137手

6	5	4	3	2	1	
王	○		○	○	王	一
○	○			○		二
○	○		○	○		三
○		○	○		○	四
○				○	○	五
○	○	○	○	○	○	六
						...
						...

攻方持駒 夜

受方持駒 なし

※夜: NightRider

○: 穴 (着手不可、通過は可)

《第 86 回 WFP 作品展》

解答締切：決定次第発表

■ 86-1 神無太郎氏作

協力自玉詰 10手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
			柑					
				柑				

持駒 飛

※柑: Root-20-Leaper王

■ 86-2 神無太郎氏作

協力自玉詰 10手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
			柑					
				柑				

持駒 飛

※柑: Root-20-Leaper王

■ 86-2 神無太郎氏作

協力自玉詰 10手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
			柑					
				柑				

持駒 角

※柑: Root-20-Leaper王

■ 86-4 神無太郎氏作

協力自玉詰 10手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
飛								
				柑				

持駒 飛

※柑: Root-20-Leaper王

■ 86-5 変寝夢氏作

レトロ協力詰 -4+1手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
					飛		王	
								入

攻方持駒 なし

受方持駒 飛

■ 86-6 変寝夢氏作

レトロ協力詰 -4+1手 ※非王手可

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								王
							皇	
						王		

攻方持駒 なし

受方持駒 なし

■ 86-7 変寝夢氏作

レトロ協力詰 -4+1手 ※非王手可  
9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
										三
										四
										五
									王	六
								香		七
							王			八
										九

攻方持駒 なし  
受方持駒 なし

■ 86-8 変寝夢氏作

PWC協力詰 5手 ※2解  
9 8 7 6 5 4 3 2 1

								桂		一
								玉		二
										三
							飛			四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 nQ  
※nQ: 中立Queen

■ 86-9 変寝夢氏作

協力自玉詰 6手  
9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
							王			三
										四
										五
										六
										七
								王		八
										九

攻方持駒 香nQn桂  
受方持駒 なし  
※nQ: 中立Queen、n桂: 中立桂

■ 86-10 変寝夢氏作

協力自玉詰 8手 ※ヘルプセルフ  
9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
										三
										四
										五
										六
									王	七
									桂	八
									王	九

持駒 Q  
※Q: Queen

■ 86-11 上谷直希氏作

協力自玉スタイルメイト 8手  
9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王		一
										二
							王			三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 銀4  
※透明駒: 攻方0枚、受方2枚

以上





# 推理将棋 詰めば都

一乗谷酔象

## ■推理将棋「詰めば都」

「100号を突破して新年を迎えられるのはめでたいね。記念に指し初めの将棋を指そうよ」  
 「では、僕の先手でいいね。お願いします。」

...

「あら。45手目の成る手が5回目の王手で詰んじゃった」

「最後に盤面に残った駒は4枚だけで55地点で詰まされた。都で煙詰とは驚いたよ」

「玉の手は5筋だけだったし、一度に5マス移動する飛の手が5回だった。5づくしの都詰で威勢がいいけど、指し初めらしくはないね」

「そんなことはないよ。不成の手が29回あった」

「なるほど平成29年にぴったりだ」

「更に、一つの駒が17連続で駒を取り、別の一つの駒が11連続で駒を取ったよ」

「2017年1月1日。指し初めに相応しい一局だね。おめでとう」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	一
	飛						角		二
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	三
									四
									五
									六
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
	角						飛		八
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	九

先手持駒 なし  
 後手持駒 なし

(条件)

- 1) 45手目の成る手が5回目の王手で詰んだ。
- 2) 終局盤面の駒数は55玉を含む4枚。
- 3) 玉の手は5筋のみ。
- 4) 一度に5マス移動する飛の手が5回あった。
- 5) 不成の手が29回あった。
- 6) 一つの駒が17連続で駒を取り、別の一つの駒が11連続で駒を取った。

解答〆切り：2017年1月10日

解答は下記まで

ichi.suizo@gmail.com

アットマークは半角にしてください。

修正：元条件には余詰があったため、  
 11/27改訂時『成る手』を追加しました。

「45手目に5回目の王手で詰んだ。」  
 →「45手目の成る手が5回目の王手で詰んだ。」

## 推理将棋第107回出題

担当：NAO

将棋についての話をヒントに将棋の指し手を復元するパズル、推理将棋の第107回出題です。はじめての方は「どんな将棋だったの？」 - 推理将棋入門 をごらんください。

解答、感想はメールで2016年12月20日までにTETSUまで (omochabako@nifty.com) メールのお題名は「推理将棋第107回解答」でお願いします。解答者全員の中から抽選で1名に賞品リストからどれでも一つご希望のものをプレゼント！ 1題でも解けたらぜひご解答ください。

初級2題は、“複数解”がテーマ。簡素な条件の中、くっきりと浮かび上がってくる二つの手順の対比を楽しんでいただきます。

上級の美野樫9兄妹シリーズはいよいよ完結編。21手と長手数ですが、手数割には易しい作品ですので是非挑戦ください。最終話には9兄妹全員が参加します。

### ◇年賀推理将棋の作品募集◇

恒例の年賀推理将棋特集を年末に出題する予定です。難易度問わず作品を募集します。投稿〆切12月5日。

・第109回、110回出題：年末年始、年賀詰 (“2017”, “17”, “29”, “11”, 干支“酉”、にちなんだ推理将棋)

### ■本出題

#### 107-1 初級 はなさかしろう 作

7322 7手(2解)

7手の基本詰手順を思い出して推理しよう。

#### 107-2 初級 NAO 作

双子の対局 9手(2解)

桂はどこで入手するのか、推理しよう。

#### 107-3 上級 チャンプ 作

美野樫9兄妹の一局(その15) 21手

どうすれば8、9筋に飛を着手できるのか、推理しよう。

### ■締め切り前ヒント

107-1 初級:32 地点の着手はいずれも後手。

「4手目△32 玉」と「6手目△32 銀」

107-2 初級:いずれも5手目に桂を取って7手目 54 地点に打つ。

「5手目▲33 同角成」と「5手目▲73 角同不成」

107-3 上級:後手の協力手で先手に飛を取らせる。

「12 手目△78 飛不成、13 手目▲同飛」

#### 107-1 初級 はなさかしろう 作

7322 7手(2解)

「7322? 暗証番号にしては扱いが不用心だね。ああ、Eテレの夜中の番組か」

「それは2355だろ。7322はさっきパズル同好会の二人が指した将棋のメモさ」

「ああ、遊びに来てたね。一勝一敗とか言って、あっという間に帰ったけど」

「どちらも7手で詰んだからね。それから、32への着手があったのも共通している」

「ということは、最後の2は手順が二通りの2か。ところでこれってパズルなの?」

「さあねえ。二人に聞いたら逆に、どう思う? って聞き返されたよ。なんでも、パズルというのは結局のところ、面白いかどうかが大事なんだって」

さて、どんな将棋だったのでしょうか? 手順を二通り答えてください。

(条件) 以下を満たす手順が二通り

・7手で詰んだ

・32への着手があった

#### 107-2 初級 NAO 作

双子の対局 9手(2解)

「二人の勝負、仲良く一勝一敗だったって?」

「2局とも9手で詰ませて先手番が勝ったよ。不思議なことに2局とも不成の手と54桂の手があったんだ」

「さすがが双子同士の対局だね。全く同じ手順だったってこと?」

「いいや、手順は異なる別の将棋だったよ」

さて、どんな将棋だったのでしょうか? 手順を二通り答えてください。

(条件) 以下を満たす手順が二通り

・9手で詰んだ

・不成の手と54桂の手があった

---

### 107-3 上級 チャンプ 作

#### 美野樞9兄妹の一局(その15) 21手

七海「やりました！皆で揃んだ優勝です！」

四郎「今日はいいい思い出になったね」

隆二「帰ったら皆でお祝いだな」

六実「私をご馳走を作ってあげるわ～」

健一「ちょっと待て、どうやらまだ終わりじゃねえみてえだぜ？」

司会「それでは優勝の副賞としてこれより記念対局を行います」

源三「なんやて!？」

六実「え～！お買い物しなくちゃいけないんだけど～？」

四郎「あっ！相手はあのプロ棋士の人みたいだよ？」

圭五「朝からずっと突っ立ってた審判かー！」

九美「プロって強いのかなあー？」

七海「健一さん、誰が指しますか？」

健一「最後ぐらい全員で指して叩き潰してやろぜ」

八重「天下分け目の決戦ね」

隆二「兄貴、何か作戦がありそうだな」

健一「いいか、お前たち・・・(ごによごによ)」

健一「俺たちの先手だ、みんな打ち合わせ通り行くぜー」

・・・対局開始・・・

健一「俺から九美まで年齢順に飛のバトンを繋いで行くからな」

源三「ホンマにこんな作戦でエエんか？」

九美「はい、17手目のウチの番も終わったよおー？」

圭五「兄貴、みんな飛の手指したけど、この先どーすんだー？」

健一「あとは指したい奴が指せばいいさ、ただし最後まで飛の手でな」

隆二「マジかよ・・・ホントに21手で勝っちゃったぜ・・・」

九美「成る手も無かったのにねえー？」

四郎「飛での駒取りは3回あったけどさ・・・」

七海「・・・察するに14手目の玉と20手目の銀が疑問かと」

六実「大変～！スーパー閉まっちゃうわ～！」

七海「わたくしも手伝います、それでは皆さんお先に失礼します」

【完】

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

・21手で詰み

・先手の着手は飛のみ。そのうち17手目までは1筋～9筋の順番に指した

・飛で駒を取る手が3回あった

・14手目は玉、20手目は銀の着手

・成る手は無かった

---

# 推理将棋第108回出題

担当：NAO

将棋についての話をヒントに将棋の指し手を復元するパズル、推理将棋の第108回出題です。はじめての方はどんな将棋だったの？ - 推理将棋入門 をごらんください。

解答、感想はメールで2016年12月20日までにTETSUまで (omochabako@nifty.com) メールの題名は「推理将棋第108回解答」でお願いします。解答者全員の中から抽選で1名に賞品リストからどれでも一つご希望のものをプレゼント！ 1題でも解けたらぜひご解答ください。

今月の3題は、手数順に初級、中級、上級と並べましたが、初級は難しめ、上級はやや易しめなので難度はいずれも中級クラスです。初級は、はなさかしろうさんの変則初形の短編。3手で詰む局面の創作なので、普段詰将棋を創る方にとって易しいはずです。

中級はPontamonさんの11手2条件作品。怪盗の予告状に隠された謎を解き明かしてください。

上級は金少桂さんの13手。後手の“完璧な”守りを打ち破ってください。

## ◇年賀推理将棋の作品募集◇

恒例の年賀推理将棋特集を年末に出題する予定です。難易度問わず作品を募集します。投稿〆切12月5日。

・第109回、110回出題：年末年始、年賀詰(“2017”, “17”, “29”, “11”, 干支“酉”、にちなんだ推理将棋)

## ■本出題

**108-1 初級 はなさかしろう 作**  
**入れ替え作業のあっけない幕切れ 3手**  
**(変則初形)**

詰みに有効な飛の手を推理しよう。

**108-2 中級 Pontamon 作**

**14択・5択・決め打ちを推理せよ 11手**  
同の手の後も攻めが切れない筋を推理しよう。

**108-3 上級 金少桂 作**

**完璧な対策 13手**

攻め駒が撃退されても初王手で詰む形を推理しよう。

■締め切り前ヒント (12月13日頃 NAO)

**108-1 初級 はなさかしろう 作**  
**入れ替え作業のあっけない幕切れ 3手(変則初形)**

「将棋を指していたので覗いてみたんだ」

「うん」

「局面はちょうど、初形配置から一対の駒の位置を入れ替えただけの状態だった」

「へえ。対局中だったということは、二歩や行き所のない駒はなかったんだね？」

「そう。王手放置もなかったよ。」

それで、続けて見ていたんだけど、3手で詰んでしまった」

「なるほど。手間の割にあっけない幕切れだったね。もう少し何か覚えてない？」

「見ていた3手のうちに飛車の手があったよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？入れ替わっている駒と手順を答えてください。

(条件)

・初形配置から一対(2枚)の駒の位置を入れ替えただけの合法局面から3手で詰んだ

・飛の手があった

※ 開始局面で手番の側を先手として扱います。

例えば、

入替：28の先手飛と22の後手角、手順：▲

21飛成 △44歩 ▲43桂まで

のような要領でご解答ください。

**108-2 中級 Pontamon 作**  
**14択・5択・決め打ちを推理せよ 11手**

「ホナン君、これは怪盗シニアからの予告状なんじゃが…」

「タイトルは『14 択・5 択・決め打ちを推理せよ』か」

「中を見てくれ。推理のヒントが書いてあるんだが、よくわからんのじゃ」

「どれどれ」

- ・ 11 分で宝玉を頂く
- ・ 7 分には 3 階を歩く
- ・ 同じところで会えるのは 10 分の一度だけか」

「3 階と言っても、14 棟のうちのどの棟なのかを推理できれば良いのじゃが」

「待てよ、シニアは推理将棋好きだから、これは条件か？書き換えると」

- ・ 11 手で詰み
- ・ 7 手目の歩の着手は 3 段目
- ・ 同が付く着手は 10 手目のみ

だな」

「おお、そうじゃ。3 段目への 7 手目の歩の着手 14 通りと数が一致するな。ひとつに絞るなら多分○筋だ。早速警部に連絡せにあ」

「博士、ちょっと待って。博士が○筋に絞った理由はわからないけど、僕は違うと思うよ。これは警備の配置を間違えさせるための心理トリックだよ」

「なんと、そうなのか」

「シニア、心理トリックを見破ったぜ。博士、警部に○棟の警備を強化するように伝えて！」

「間に合うと良いのじゃが…」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・ 11 手で詰んだ
- ・ 7 手目の歩の着手は 3 段目
- ・ 同が付く着手は 10 手目のみ

=====

(修正 11 月 26 日)

**108-3 上級 金少桂 作**

**完璧な対策**

**13 手**

「最近友人がよく 10 手前後で負けて帰ってくるので、明日の対局に備えて対策を考えてきたぞ！」

「どんなの？」

「まず、玉が陣外へふらふら出ていかないこと。二段目より上へ上がるのは危険すぎる。また、最初に玉から動かすのもあまりよくない。」

「確かに玉は守備駒から離れるべきじゃないね。」

「次に、自陣に敵駒が攻め込んできてるのに対処しないのはまずい。自陣に敵駒が侵入してきたらすぐに撃退するんだ。」

「ふむふむ。敵駒の侵入は絶対に許さない、と。」

「そして、最後に駒損しないこと。駒が取られたら、すぐにそれ以上の価値の駒を取り返すことだ。」

「完璧な対策だね！これならきっと勝てるよ！」

翌日

「わ～ん、13 手で詰まされた～～～。自陣に侵入してきた相手の駒は次の手で必ず取り返したし、駒を取られても次の手で必ずそれ以上の価値の駒を取り返し、ちゃんと対策通りにしたのに。初王手でいきなり詰んでるなんて、こんなのないよ～～～」

「2 手目いきなり飛から動かすのもどうかと思うよ。やっぱり歩から動かすべきだったんじゃない？」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・ 13 手目の初王手で詰んだ
- ・ 後手玉は二段目より上には行かなかった
- ・ 2 手目は飛を動かした
- ・ 後手は、自陣に侵入した先手の駒を次の手で必ず取った
- ・ 後手は、自分の駒が取られたら、次の手で必ずそれ以上の価値の駒を取り返した

(駒の価値は飛>角>金>銀>桂>香>歩の順)

詰四会20回記念フェアリー作品展解答

解答期間を1ヶ月延ばした詰四会20回記念フェアリー作品展ですが、解答もそんなに増えませんでした。100号記念行事ばかりに目が行きましたかね。

【解答者】(○は全第正解)

○橋本孝治、井上順一、占魚亭

【協力詰】

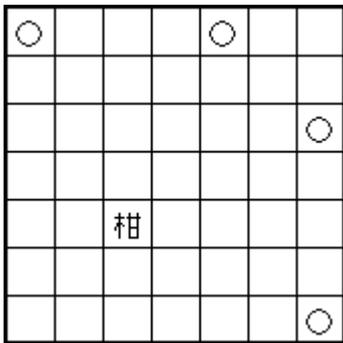
先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

【協力自玉詰】

先後協力して最短手数で攻方の玉を詰める。

【Root-20-Leaper】(柑)

(2,4)-leaper。2対4の位置に跳ぶ八方桂。



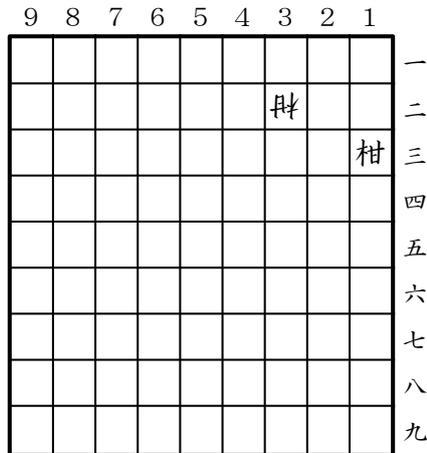
(○が柑の利き)

【強欲】

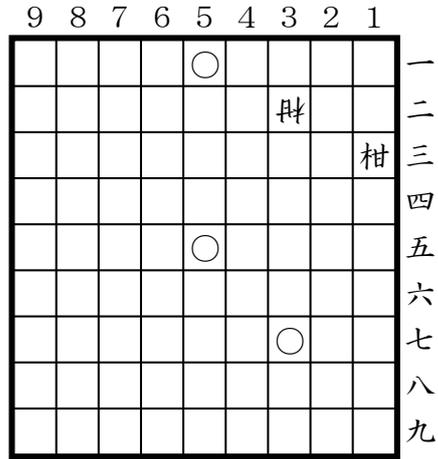
駒を取る手を優先する

① 神無太郎作

柑王ばか自殺詰 10手



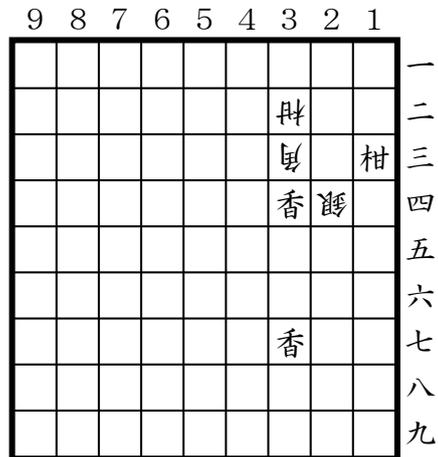
持駒 香



持駒 香

39 香 38 香 同香 37 桂 同香 35 銀  
34 香 33 角 24 桂 同銀 まで 10 手

詰上図



持駒 なし

★柑の利き(2,4)-leaperが見え難いので考える前に先手柑の利きを表示します。先手柑の利きは3箇所(37,51,55)。図で○印のついた地点をどのように抑えるかを考えます。37の地点は先手の持駒が香ですので先手香で埋めるのが予想できます。残りは51と55です。ここを同時に抑えるのは33,73角か53飛です。ですが53飛は王手が掛かりますし、73角は83飛か93飛打ちが非限定になりそうですので除外できそうです。残りは33角で、3筋の香打に対して発生しますのでこれが本命と予想できます。あとは先手柑の仕留め方です。先手柑の回りには利きがありませんので何とでもなりそうですが、3筋に合駒を出せてピンをはずしての手段は35銀~24桂~24同銀しかありません。あとは手順を組み立てればOKですが気を

つけるのは2手目の香合です。飛合でも良さそうですが、ダメなのは詰上図を見れば一目瞭然です。飛であれば最後同飛と取られてしまいますね。このあたりよく出来ています。このように考えていけば楽しく(?)解けていくと思いますが、とっつき難いルール名が仇となったのか解答者は2名と寂しい結果となりました。

橋本孝治

同じ筋で王手を重ねる手筋ですが、合駒が飛ではなく香なのが面白い所。横に利かない駒でないでダメなんですね。

占魚亭

攻方駒で37地点を埋めるのが上手い方法でした。

② 神無太郎作

柑王ばか自殺詰 10手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
王									二
									三
									四
									五
									六
									七
							柑		八
									九

持駒 香

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
王									二
									三
				○				○	四
									五
		○							六
									七
							玉		八
									九

持駒 香

99香 98香 同香 97飛 96香 95角  
同香 94飛 47角 同飛成 まで10手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
王									二
									三
香									四
									五
									六
						飛			七
香							柑		八
									九

持駒 香

★①と同じように解いてみましょうか。利きの図を見てみますと14,54,76の3箇所です。問題は14の地点です。54の地点もありますので94飛が第一感、最終手47角(馬)は、どこかに角合して9手目から47角、同角(成)ですが、持駒香ですので角合の場所も最終手の成生非限定もあります。14,54を94飛で抑えるとして76はどうするか、先手の駒で抑えようとする、たとえば99香、98角、同香、83柑、94角、92玉、76角みたいな順はありますが、先手柑を仕留める順が構築できません。私が解図する際散々な悩んだのですが、種明かしをすれば、76地点は後手柑の利きがありました。54,76には後手柑の利きがあるわけで考えるのは14地点だけということでした(笑)あとは94飛を発生させながら先手柑を仕留める順を探します。今度はお互いの柑が離れているので小駒では無理で大駒で仕留めます。9手目に先手の周りに大駒を打って同○です。92柑(不動限定ですが手数的に動かないとします)に王手を掛けるには47角しかありませんので、最終2手は47角、同飛成となります。あとは①と同様の流れで組み立てれば大丈夫でしょう。

橋本孝治

こちらは飛を残すための2手目香限定合。柑王を詰めることを除けば、慣れ親しんだ手筋物の風味。

占魚亭

角で詰ますのが第一感でしたが、これだと飛車の利きを塞ぐことに気付きました。

③ 神無太郎作

柑王ばか自殺詰 10手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
						柑			三
王									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 飛

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
		○							一
						柑			二
王									三
		○							四
									五
				○				○	六
									七
									八
									九

持駒 飛

81 飛 82 香 同飛成 83 飛 73 龍 46 柑  
49 香 48 角 43 龍 44 角 まで 10手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
飛				龍	玉				二
				馬					三
									四
									五
				王					六
									七
				馬					八
				香					九

持駒 なし

★今回の最難問はこの作。①②の常識が使えないためです。まず先手柑が中央によりましたので利きが4つに増えました。(17,57,71,75) 図参照  
後手柑の利きとも被っていませんので4つを抑えないといけません。77 飛一枚で抑えられるので、それを狙いたくなりますが、後手柑の利きの関係でなかなか実現できません。

はっきり申し上げて私は解けませんでした。後手柑が動くという発想が浮かびませんでした。4箇所を抑えるには2枚の合駒を出現させてなおかつピンを外させる為打つ駒の入手と仕留める駒を出さないといけず、到底後手柑が動くとは予想できませんでした。その種明かしが、最終手で 17,71 を抑えながら仕留駒となる 44 角で、2つの役割を同時に果たすことで後手柑の移動が可能になったのです。84 より先手柑に近づける 46 の方が詰ましやすいのは当然で、残り4手になれば解けたと思いますが、難解なのは序の6手。43 龍を動けなくする 83 飛の発生はこの最終形を思いつけなければ思いつけないと思います。頭から考えると多分ダメで、後手柑が 46 に移動するとしての詰上り想定も初めに考えていないと難しいと思います。見れば見るほどよく出来ていると思います。傑作。

橋本孝治

大変苦戦しました。飛で縦か横を抑えたいくなる形なので、角を主体とする詰筋は想定外。逆王手を掛けさせて龍をピン止めする構図も想定しにくいです。攻方も入れれば合駒5回？

占魚亭

降参です。

④ たくぼん作

強欲協力詰 63手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
		金	歩	歩		王	歩	角	二
				歩		歩		金	三
		歩	桂	飛		皇		歩	四
		歩				歩		歩	五
		銀	香	角		歩	歩	歩	六
									七
									八
									九

持駒 歩3

33 金 同玉 34 角成 同玉 45 角 同歩  
 35 香 同玉 45 飛 26 玉 25 飛 37 玉  
 27 飛 46 玉 47 飛 同玉 56 銀 同玉  
 65 銀 同玉 76 銀 64 玉 63 桂成 同玉  
 73 金 同玉 85 銀 77 金 74 歩 64 玉  
 65 歩 同玉 76 銀 74 玉 75 歩 84 玉  
 85 歩 95 玉 96 歩 同玉 87 銀 85 玉  
 86 歩 75 玉 76 歩 同金 同銀 86 玉  
 87 金 95 玉 96 歩 84 玉 85 歩 74 玉  
 75 銀 85 玉 86 銀 94 玉 95 歩 84 玉  
 85 銀 95 玉 96 金 まで 63 手

詰上図

											一
											二
											三
											四
	王	銀									五
	金										六
											七
											八
											九

持駒 なし

★最後は担当のいつもの作品です。持駒ありではありませんが詰上り3枚の煙詰です。銀と歩を使って金を取る順の収束は慣れた方なら分かる定跡手順なのですが、慣れていない方だとちょっと考えるところです。この順は後々私の作品を解くときに役立ちますので覚えておくと良いでしょう(笑)

橋本孝治

今回の作品展ではこの作を最初に解きました。収束は例の筋ですが、初形「20」まで逆算したのはさすがの腕前です。

井上順一

盤面曲詰で煙とはすごい。手順は途中まではさくさくと進んだが、30 手目以降はかなり考えさせられた。

占魚亭

0の字がきれいに消えて気持ち良い。質駒の金の取り方にちょっと苦戦。

★ 井上さんは本作だけの解答でした。ありがとうございます。

【総評】

橋本孝治

「WFP 作品展」や「氾濫」で手一杯だったせいか、詰四会作品展の募集があったことをすっかり忘れていました。お詫びというわけではないのですが、解答の方で参加させて戴きます。

★ いつも解答は戴いておりますのでお詫びでの解答ではないでしょう(笑)気持ちはありがたいですね。次回は作品でもお願いします。

# 推理将棋第106回出題解説

担当：NAO

出題：平成28年9月23日  
 解答締切：平成28年10月20日

今回は19名から解答いただきました。易しめの選題、久々の余詰なしの出題でしたが、なぜか解答者数はやや減少。"余詰を出題した回は解答者が増える"という謎のジンクス(?)があり、その反動かもしれません。

## 106-1 初級 NAO 作 43金の後は？

9手×2

A「たったの9手で負けちゃった。2手目に3筋の手を指した序盤が失敗で、43金が奇妙な一手だった」

B「僕も2手目3筋の手を指して9手で負かされた。43金の一手もあったから君の対局と全く同じ手順かもしれないね。終盤はどうだったの？」

A「平凡な収束だったけど、43金より後、成った手が印象に残ってるよ」

B「なるほど。僕の対局は、43金より後、4筋への金の手が勝負を分けたね」

さて、二人が負けた対局とはどんな将棋だったのだろうか？

(条件A)

- ・9手で詰んだ
- ・2手目は3筋の着手
- ・43金より後に、成る手があった

(条件B)

- ・9手で詰んだ
- ・2手目は3筋の着手
- ・43金より後に、4筋への金の手があった

出題のことば (担当 NAO)

43金を指したのは先手か後手か推理しよう。  
 追加ヒント

2手目は△32金。

- ・A 後手が△43金と指す。止めは金を打つ手。
- ・B 先手が▲43金と打つ。止めは▲42金。

## 推理将棋106-1 解答

A：

- ▲4六歩 △3二金 ▲4五歩 △4四歩
- ▲同歩 △4三金 ▲同歩成 △7二金
- ▲5二金 まで9手.

(条件A)

- ・2手目は3筋(△32金)
- ・43金(6手目△43金)より後に、成る手(7手目▲43同歩成)

詰上がり図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	香	桂	銀		玉		銀	桂	香	
二		飛	金		金			角		
三	歩	歩	歩	歩	歩	と	歩	歩	歩	
四										
五										
六										
七		歩	歩	歩	歩		歩	歩	歩	
八		角						飛		
九	香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	

持駒 歩

B：

- ▲7六歩 △3二金 ▲3三角成 △4二銀
- ▲3二馬 △4四歩 ▲4三金 △6二銀
- ▲4二金 まで9手.

(条件B)

- ・2手目は3筋(△32金)
- ・43金(7手目▲43金)より後に、4筋への金の手(9手目▲42金)

詰上がり図

										一
皇	科		香	王			科	皇		二
	飛		香		金	馬	皇			三
歩	歩	歩	歩	歩			歩	歩		四
					歩					五
										六
		歩								七
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩		八
							飛			九
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香		

持駒 銀歩

本作は一つの着手"43金"の後の着手が異なる9手詰がテーマのツイン作品です。先手後手のいずれも"43金"を着手する可能性があり、残る条件との組み合わせで"43金"着手の先後が入れ替わる手順の対比を狙いました。

・後手の△43金は？

後手が43金と指すには、△32金～△44歩～△43金の3手が必要。6手目△43金の後、7手目に先手が43金を取ればよい。しかも7手目が"成る手"ならば条件Aを満たす。

条件A：先手は4筋の歩を突き進めて"歩成"で43金を取ることができる。

初手から「▲76歩 △32金 ▲45歩 △44歩 ▲同歩 △43金 同歩成」

最後は金と飛の効きを外す協力手で詰み。8手目から「△72金 ▲52金」まで。

・先手の▲43金は？

先手が43金と指すには、角が成って馬で金を取って43地点に打つ手順。43に打った金を42に進めて詰ませば"4筋の金"の条件Bを満たす。

条件B：先手は角を成った後、金を取って打つ。後手は△32金～△42銀～△44歩の手順で協力する。初手から「▲76歩 △32金 ▲33角成 △42銀 ▲32馬 △44歩 ▲43金」退路封鎖の協力手の後、止めの一手4筋の金"42金"で詰み。8手目から「△62銀 ▲42金」まで。

"2手目3筋"で△32金を強要された後、43金着手のため空間を空ける△44歩と指すのが両局の共通点ですが、後手△43金と先手▲43金では、全く攻め筋が異なる展開を見せます。特

に、Aの▲46歩からの突歩の攻めは一見遅いようで実は早い意表の攻めでした。

それではみなさんの短評をどうぞ。

NAO（作者） 「A、Bともに難易度初級のつもりでしたが楽しんでいただけただけでしょうか。思いの外Aが難しかったようです」

■追加ヒント前、以下の7名から解答をいただきました。

RINTARO 「A：4筋から攻める手はすぐには見えないです。B：素直な手順。こちらが先に解けました」

小木敏弘 「A：今回の最難問で19時間消費。後手が自分で歩をつけて金を43に持っていくのに三手も使うので、ないかなと思っちゃいました。その金を標的にするのが盲点でした。B：解けると難しい手順ではないのですが、夜となり朝となって12時間かかりました。二番目の難問」

Pontamon 「僅かな条件の違いで全く異なる手筋のツインの佳作でした。Aはトドメが成る手だと思いがちだし、Bは▲53角成から▲43馬で金を取って▲42金とする手順の紛れ筋が気になって、先手の▲43金への頭の切り替えが遅れました」

斧間徳子 「条件Aは初手76歩を考えたので思いのほか苦戦でした。対照的な手順はツインに好適」

小山邦明 「A：大駒の動きのない推理将棋は珍しい気がしました。B：手順が全く異なる良いツイン問題だと思いました」

はなさかしろう 「久しぶりのツインですね。Bはすぐ解けましたがAがなかなか見えませんでした」

ほっと 「初手76歩と決め打った結果、条件Bはすぐに解けたものの、Aが解けずに今月最後まで残る。初級出題なので条件AとBは逆にした方が良かったかも」

■皆様、Aに苦戦されました。突き歩の攻めはバリエーションが少ないですが、たまに出題すると難問になることが多いです。

■以下は、追加ヒント投入後の解答者の短評です。

飯山修 「A：直前ヒントが出るまで全く判らず。初級じゃなーい。解けてみると成程初級。亀も兎に勝てるということか。改めて過去問を見ると詰パラ 46 番が酷似。36-3、79-1 と風味が似ている。B：こちらは素直な問題。これぞ初級」

隅の老人B 「A：千里？の道も一步から。歩一步、これでOK。B：大駒の出動。簡単にAより先に解けたのが、Aに大苦戦の原因となる」

■突き歩の遅早。歩で金を取って頭金の手筋です。

山下誠 「A：角を使う言葉狩りを考え、この問題が最後まで残りました。B：こちらは一目でした。この影響でAが何日も手間取りました」

S.Kimura 「A：ヒントを見るまで、歩で金を取ることが思い浮かびませんでした。B：先手が43の金を動かす手順は限られていたので容易に解けました」

布哇齋 「A：手数少なさと△4三金の後の成から、9手目に角成で詰みと決めつけて泥沼でした。いくら角が便利だからって、決めつけはよくないものです。B：Aで悩んでいるうちに、先手の4三金打のパターンとして、こちらが自然に浮かびました」

占魚亭 「43金着手のツイン。Aの方に少し時間がかかりました」

原岡望 「A：角と思い込み大苦戦。B：腕力で詰める」

たくぼん 「角で行くと思えば条件Aで悩みました。歩で良かったとはね」

諏訪冬葉 「A：Bと同様に角を使うと思ったら7手目に金を取りつつ成る手がない。まさか歩とは・・・ B：『43に金を打って動かす』というパターンが浮かんだので解けました」

■"角の攻め"で43金の後、成る手は無いか？出題する方は無いことがわかっているので、これほど皆様を悩ませるとは思いませんでした。

加賀孝志 「A：ストレートで解けました。B：一粒で2度美味しい」

■多数の方がAに苦戦する中、さくっとAを解かれた方は少なかった。

波多野賢太郎 「どちらの手順もちょっと悩みました。ちょっとした条件の違いで、9手でもガラッと手順が変わって好ツインですね。2手目3二金は同じで、4三金は先後変わるという対比も面白いと思いました」

■2手目△32金。別の駒も匂わせますが、金の着手地点を限定し手順前後も防ぐ意味です。

DD++ 「居玉を二段目の金で仕留める基本的な形2つの対比。43金条件のクリア方法も対比的で、あとは2つめの条件の後半が同系統なら完璧でしたが、そこまではちょっと高望みしすぎですかね」

■"43金より後に、4筋の成る手があった"とすれば"4筋の金の手"と呼応しますが、流石にサービス過剰でしょう。

-----  
正解：19名

飯山修さん S.Kimuraさん 斧間徳子さん  
加賀孝志さん 小木敏弘さん 小山邦明さん  
隅の老人Bさん 諏訪冬葉さん 占魚亭さん  
たくぼんさん DD++さん 波多野賢太郎さん  
はなさかしろうさん 原岡望さん 布哇齋さん  
ほっとさん Pontamonさん 山下誠さん  
RINTAROさん

-----  
106-2 中級 Pontamon 作

後手の着手を大公開

11手

「11手で詰めたんだって？」  
 「とどめは不成だったんだ」  
 「どんな将棋だったの？」  
 「後手は、香、銀、金、角、飛の順で指していたよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・11手目の不成で詰んだ
- ・後手は、香、銀、金、角、飛の順で指した

出題のことば (担当 NAO)

後手の協力手にピッタリの攻めを推理しよう。

追加ヒント

飛不成までの詰みを目指す。後手の飛を取ることができないことに注意。

推理将棋 106-2 解答 担当 NAO

- ▲2六歩 △1二香 ▲2五歩 △3二銀
  - ▲2四歩 △5二金左 ▲2三歩成 △1一角
  - ▲3二と △6二飛 ▲2一飛不成
- まで11手。

詰上がり図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	皇	科	馬	香	王			飛	皇	
二				飛	香		と		皇	
三	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	
四										
五										
六										
七	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	
八		角								
九	香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	

持駒 銀桂歩

(条件)

- ・11手目の不成で詰んだ(▲21飛不成)
- ・後手は、香、銀、金、角、飛の順で指した(△12香～△32銀～△52金左～△11角～△62飛)

本作は、タイトル通り後手の着手駒種を全て明示して、協力手から先手の攻め筋を推理させる問題です。「香、銀、金、角、飛」と安い駒から高い駒に順に着手駒種を替えていく後手の手順には、多くの攻めのヒントが隠れています。

- 1) 玉の手がない→居玉で詰む。
- 2) 歩の手がない→先手は三段目から強引に突破。
- 3) 後半に大駒の着手がある→先手から飛や角を奪う展開にはなりにくい。
- 4) 最終手不成→単騎詰にはなりにくい。

以上を解図の鍵として、先手から三段目を強引に突破する手順を追っていきましょう。

・角で行く手順：

▲76歩～▲33角以下は後手の着手駒種と噛み合わず攻めが頓挫。

▲76(96)歩～▲44(97)角～▲53角成～▲

31(71)馬と銀を奪い、以下、銀打～銀生と進める手順は、居玉に対して詰む形がない。失敗例「▲76歩 △12香 ▲44角 △62銀 ▲53角成 △XX金 ▲31馬」以下、銀打～銀生で居玉を詰ませる形がない。

・飛で行く手順：

▲26歩～▲25歩～▲26飛～▲36飛～▲33飛進めると3筋攻めが有力だが、残り1手の飛不成では仕留められない。失敗例「▲26歩 △12香 ▲25歩 △62銀 ▲26飛 △52金左 ▲36飛 △11角 ▲33飛不成 △92飛 ▲31飛成まで」は最終手成で条件外れ。▲33飛成～▲31龍も同様に条件を外れる。また、3筋攻めと同様、▲76飛～▲73飛の7筋攻めも失敗する。

・歩で行く手順：

▲26歩～▲25歩～▲24歩～▲23歩成と2筋を突破して▲21飛不成を目指すのが正解手順。"と金"を残して生飛とのコンビで詰形を築いてゆく。角を11に引くため2手目は11香を動かし、最終21飛の効きを通すため銀は32地点で取らせて金は左金を上げる。初手から「▲26歩 △12香 ▲25歩 △32銀 ▲24歩 △52金左 ▲23歩成 △11角」以下、最後は"と金"が飛不成をアシストして詰形が完成。「▲32と △62飛 ▲21飛不成」まで。

簡素な条件から最終不成での詰手順を導くまで、誘い手もあり推理を楽しめる好作品でした。

それではみなさんの短評をどうぞ。

Pontamon (作者) 「2ヶ月前の投稿作品なのに手順を忘れ、作品の狙い通り、不成で仕留めるための銀入手を目指して失敗しました。他の解答者にも銀入手を目指した方が居て欲しいと願うばかりです」

■角で銀を入手する順は作者でも迷うほど定番の手順でしたが、二段玉でないと銀不成で詰む形にはなりませんね。

布哇齋 「最後の不成から、角銀のコンビネーションが自然と考え、そちらばかり読んで泥沼でした。いくら角が便利だからって、決めつけはよくないものです(2つ目)」

波多野賢太郎 「この問題にハマってしまいました。角成から銀を取る順や2六飛から飛車を振る順しか浮かばず、ヒントを見てもかなり悩みました。歩を突いていくのは間に合わない気がして盲点でした」

■銀入手の筋に誘い込まれたのは、作者の狙い通りでした。

S.Kimura 「飛車単騎の不成は考えたのですが、歩で飛車の通り道を作る発想が浮かびませんでした」

飯山修 「居玉なのでいつものはてるま手筋と思ったが最終手生なので補助が必要。定跡7手詰の派生でしたか」

原岡望 「飛だけでは詰まないことに気づいて解決」

諏訪冬葉 「さっき(20日23時過ぎ)解けました。まさかと金がサポートに働くとは思いませんでした」

■最終手不成の条件がなければ、31か71の龍単騎の筋があるところ、▲23歩成からのと金攻めとは意表を突かれました。

RINTARO 「まさかの2筋でしたが、気付けば簡単でした」

小木敏弘 「解けると難しい手順ではないのですが、夜となり朝となって12時間かかりました。二番目の難問」

小山邦明 「最初は角を考えたが、後手の2枚の金の処置に困ったので、飛を活躍させる事を考えたら、きれいな手順となった」

占魚亭 「後手の着手順が明かされているので易しかったです」

山下誠 「2筋から攻めることに気付けば一目でした。面白い条件ですね」

加賀孝志 「まさか飛が間に合うとわ！」

■"と金"の遅早。歩が成って"と金"が動くまで5手も掛かるが、実はぴったり間に合う早い攻めです。

ほっと 「51玉を不成で詰ますには？まさか飛とは」

たくぼん 「先手の飛を世に出すのは一苦労ですね。面白い後手条件でした」

隅の老人B 「角を動かすには？これから初手が始まった」

はなさかしろう 「この条件で一意に決まりますか！安い順と見せて、飛角を取って打つことができなくなっているのが利いていますね」

斧間徳子 「初手76歩を考え大苦戦、決して『易しめの出題』ではなかった。簡素できれいな条件付けがすばらしい」

DD++ 「後手の駒種だけ明かすのは昔私もやりました(36-2)が、角が混ざった瞬間から駒打ちが視野に入るので実は結構解きにくいんですね。先手が後手飛を取れないのは明らかですが、後手が先手飛を取るの意外とできて

しまつて、しかも先手の手数があるので一見何かできそうという……。」

■本作品も DD++さん作 9 手 (36-2) と同様、後手の着手駒種から手順を構築する良問。簡素条件から詰形と手順を論理的に導いていく推理力を試されます。

正解：19名

飯山修さん S.Kimura さん 斧間徳子さん  
加賀孝志さん 小木敏弘さん 小山邦明さん  
隅の老人Bさん 諏訪冬葉さん 占魚亭さん  
たくぼんさん DD++さん 波多野賢太郎さん  
はなさかしろうさん 原岡望さん 布哇齋さん  
ほっとさん Pontamon さん 山下誠さん  
RINTARO さん

106-3 上級 チャンプ 作  
美野樫9兄妹の一局(その14) 13手

健一「さすがに四郎は無駄がないな」  
四郎「詰み形の分析をしてたら偶然思い付いただけだよ」  
七海「……その謙虚なところが四郎さんらしいですわ」

源三「いよいよ決勝やな、ここまで来たら優勝するで」

隆二「でもまあ最後は兄貴に任せるぜ」  
健一「ん？お前たちはいいのか？」  
八重「各々方、御館様のご出陣よ」  
九美「みんなで応援してるからねえー」  
七海「陰ながらお祈りしてます」  
六実「健ちゃんファイト〜！」  
圭五「兄貴、みんなで優勝カップ掲げようぜー」  
健一「粋なこと言ってくれるじゃねえか……よし、俺に任せろ！」

七海「そろそろ始まる模様です」  
六実「最後ぐらいみんなで見に行こ〜」

健一「俺の先手だな、さあ行くぜー」

……対局開始……

四郎「見てるだけとはいえ緊張するね」  
源三「相手さん3筋の着手が多いんとちゃうか？」

七海「……察するに今の着手で4回目かと」

八重「あと不成の手がないわね」  
隆二「小細工は不要ってとこだろな」  
圭五「それにしても互いに一度走り終えた駒は動かねーな」

九美「でもなーんか健にいのペースって感じだよおー？」

六実「あ、健ちゃんが13手で勝ったわ〜！」

一同「(歓喜)」

健一「お前たちの応援のおかげだな、ありがとう」

健一「さあ、表彰式が始まるみたいだぜ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

- (条件)
- ・13手で詰んだ
  - ・先手は1筋の着手のみ
  - ・3筋への着手が4回あった
  - ・不成の手は無かった
  - ・お互い一度動きを止めた駒は二度と動かすことが無かった

出題のことば (担当 NAO)  
1筋の着手だけで詰む形を推理しよう。  
追加ヒント  
後手玉は25地点で詰まされる。

推理将棋106-3 解答 担当 NAO

- ▲1六歩 △3四歩 ▲1五歩 △3五歩
- ▲1四歩 △4二玉 ▲1三歩成 △3三玉
- ▲1八飛 △3四玉 ▲1四飛 △2五玉
- ▲1七桂 まで13手。

詰上がり図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	皇	科	爵	帝		帝	爵	科	皇	
二		飛						飛		
三	歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	と	
四									飛	
五							歩	王		
六										
七	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	桂	
八		角								
九	香	桂	銀	金	玉	金	銀			香

持駒歩

(条件)

- ・先手は1筋の着手のみ(16歩～15歩～14歩～13歩成～18飛～14飛～17桂)
- ・3筋への着手が4回あった(△34歩～△35歩、△33玉～△34玉)
- ・不成の手は無かった(7手目▲13歩成)
- ・お互い一度動きを止めた駒は二度と動かすことが無かった(先手：16歩～15歩～14歩～13歩成、18飛～14飛。後手：34歩～35歩、42玉～33玉～34玉～25玉。)

本作は、美野樫兄妹の長兄、健一が一人だけで1筋端攻めして勝つ作品。一つの筋で攻める作品は美野樫兄妹シリーズ中に、八重(89-3)、圭吾(92-2)、九美(95-3)、四郎(105-2)とそれぞれ一人で勝ち抜いてきましたが、大会の決勝戦では健一兄貴が戦います。指し手の限定が厳しく、やや易しめの上級問題です。

13手を先手の7手と後手の6手に振り分けると、3筋の着手4手は全て後手の着手。これを手掛かりに詰み形を推理します。

・後手玉が1筋に近づくには、3筋以外の後手の残りの2手を玉に使うしかない：△42玉～(△3X玉)～△2X玉と進めたい。玉が1筋方面に向かうとき、角や桂が邪魔なのでどこかす手がある。たとえば、以下の二つの手順が第一感。

A. △34歩～△33角～△42玉～△32玉～△22玉～△32金(飛)

B. △34歩～△33桂～△42玉～△32玉～△21玉～△32金(飛)

いずれも、3筋の着手4回なので条件通りで本筋を思わせる。

・一方、2筋の玉を捕らえる先手の攻めは、たとえば

(P)▲16歩～▲15歩～▲14歩～▲13歩成～▲12と～▲11と～▲12と(香成)

が一例。一見、先手(P)と後手Aを組み合わせればよさそうだが、

「▲16歩 △34歩 ▲15歩 △33角 ▲14歩 △42玉 ▲13歩成 △32玉 ▲12と」の後、と金の効きで△22玉が反則になる。"不成の手なし"の条件のため、と金に近い2筋に移動できない。

・それでは"と金"の効きのない中段玉はどうか。以下の手順で後手玉が24か25地点へ進む。

C. △34歩～△42玉～△33玉～△24玉(+3筋の手2回)

D. △34歩～△35歩～△42玉～△33玉～△34玉～△25玉

・中段玉には、歩成の後に飛を捌く攻め。

(Q)▲16歩～▲15歩～▲14歩～▲13歩成～▲18飛～▲14飛(+1手)

これをCと組み合わせると、24玉に対し14飛の王手は掛かるものの詰みには至らない。そして、先手(Q)と後手Dの組み合わせが唯一詰みに至る手順となる。

先手は端歩を突き進めて成り、後手は3筋の歩を続けて付いた後、3筋に玉を移動する。初手から「▲16歩 △34歩 ▲15歩 △35歩 ▲14歩 △42玉 ▲13歩成 △33玉」次いで先手は飛車を活用し、後手は中段に玉を移動する。9手目から「▲18飛 △34玉 ▲14飛 △25玉 ▲17桂」まで。止めは桂跳ねがぴったり。

桂跳ねは飛への香の効きを遮りますが、飛には"と金"の紐がついている仕掛けです。注目の決勝戦は、お見事健一兄貴が一人で勝利を収めました。

それではみなさんの短評をどうぞ。

チャンプ(作者) 「このシリーズ創作の当初より決勝戦は健一に任せる構成を思い描いていました。決勝に会心作を用意していたわけでは

ありませんので悪しからず（笑）飛と桂で挟む詰め上がりは八重の回（89-3）に続いて2回目になりますが、8筋と1筋では少し印象が違うかと思っています。

さて、9兄妹の戦いは見事優勝という形で幕を閉じました。最終回は全員参加の余興となります。最後までお楽しみ頂けたら幸いです」

ほっと 「22玉や21玉を詰ます筋に嵌まりまくる。作者の狙いどおりか。それにしても予選3連勝の後、11連勝してやっと優勝とは、どれほどの規模の大会なのだろうか（笑）」

■たしか"町の将棋大会"でしたね。どれほど大きな"町"なのでしょう（笑）

加賀孝志 「詰め上がり気に入りました」

はなさかしろう 「優勝おめでとうございます。1三のと金が利いていて、好い詰形ですね」

■桂跳ねで香の効きがなくなる分、と金の紐付けとは洒落てます。

RINTARO 「最初に解けました。1筋だけの攻めは考えやすいです」

小木敏弘 「面白いヒントが多く解きやすかったです。3筋の歩の二回突きと桂で仕留めるのが妙味でした」

原岡望 「ヒントでぐっと易くなる。なぜか3から先に解けた」

■指し手の選択肢が少なく、上級としては易問でした。

Pontamon 「3筋への着手4回の条件が厳しくて、1～2段玉での詰み形がいくつかあっても3筋着手は3回止まり。手順前後が出来ない3筋の手順を裏読みして解きました」

隅の老人B 「同じ駒は二度と動かさない、この条件は上手いな」

山下誠 「玉の径路を確保する3五歩を発見するまでが一苦勞でした」

■手順前後と複数の経路のある玉移動の手順を巧く一手順に限定されてますね。

波多野賢太郎 「こちらも悩みました。ヒントを見たらすぐわかりました。2五で詰むとは意表を突かれました。優勝おめでとうございます」

飯山修 「またしてもやられました。まさか玉が25迄上がってくるとは。中段玉は桂に弱いということか」

S.Kimura 「玉を22で詰ませることしか考えていなかったのが、25に出てくるのは予想外でした」

斧間徳子 「手が限定されるので易しかったですが、最終手が桂とは意外でした」

たくぼん 「桂が最後に出動してフィニッシュ。手の流れが楽しめる1局」

■詰まされる場所、詰ます駒、いずれも想定外でした。

占魚亭 「飛車を成って竜で詰ますと想像していたため、桂跳ねは盲点でした」

■飛車が成るには手数が掛かりすぎますね。

諏訪冬葉 「最終手は14龍か15龍だと思ってました。香車の利き遮って大丈夫だったんですね」

小山邦明 「一番大事そうな先手の香がなくても詰むとは最初思いませんでした」

■端攻めで最も大事な駒、香車が要らないとは全く意表の展開でした。

DD++ 「この条件で2筋玉にするだけでも大変なのに不成なしのせいで輪をかけて攻めにくく、最終形が限られるので13手としては与し易いですね。不成なしを外しても詰むのは11

歩成 12 と (香成でも) の形くらいだろうと思いますが、これをもっと巧妙に隠す条件だったらお手上げ続出だったでしょうか」

布哇齋 「後手の 3 筋 4 回が大ヒントで、かなり手が狭かったです。1 筋なのにどちらの香も無関係というのが面白いところで。不成を認めると余詰があるのでしょ

■不成を許容すると 13 歩不成～12 歩不成とする筋があります。「▲16 歩 △34 歩 ▲15 歩 △42 玉 ▲14 歩 △32 玉 ▲13 歩不成 △33 角 ▲12 歩不成 △22 玉 ▲11 歩成 △32 飛(32 金)▲12 と(12 香成)」 まで。

-----  
正解：19名

飯山修さん S.Kimura さん 斧間徳子さん  
加賀孝志さん 小木敏弘さん 小山邦明さん  
隅の老人Bさん 諏訪冬葉さん 占魚亭さん  
たくぼんさん DD++さん 波多野賢太郎さん  
はなさかしろうさん 原岡望さん 布哇齋さん  
ほっとさん Pontamon さん 山下誠さん  
RINTARO さん

-----  
総評

諏訪冬葉 「気づいたら 12 時回っていた。でも解答します」

■20日の25時?まではOKです。

飯山修 「手数

■偶数手数だと詰まされて負けるイメージがありますので・・・

布哇齋 「今回は、初級からヒント待ちとなっていました。106-1A、106-2 と、詰め方の指し手に悩んだら取り敢えず角を使うという決めつけがまずかったようです。今回で美野樫9兄妹最終回という予想は外れましたので、この後優勝者のエキシビジョン、全員1手ずつ指して17手というのが最終回になると予想を修正します」

■"エキシビジョン"、"全員1手ずつ指す"途中の17手目までは正解。出題では4手追加の21手。美野樫9兄妹最終回は107-3に出題中です。

S.Kimura 「今回は4問中3問をヒントに頼ってしまいました。106-3は別として、歩を延ばしていく筋が盲点だったかもしれません」

小山邦明 「今回は、歩を3段目まで一気に成る手順で大活躍する特集で楽しめました」

Pontamon 「終わってみれば、歩を突き進める序の特集だったようですが、上級以外の解図ではどうしても角の出陣から考えてしまいます。(手順を忘れていた自作も含め) (^\_^;」

■行き詰まったときは"歩突きの攻め"。推理将棋の解図定跡の一つでしょう。

RINTARO 「今回は考えやすかったです」

ほっと 「今回はヒント無しで全題解けました」

小木敏弘 「消費時間が、初級・中級・上級の順にたくさんかかりました。(睡眠・食事・入浴時間含む)」

占魚亭 「前は酷い誤答をしていましたが、今回は大丈夫……なはず」

隅の老人B 「今回は1-Aで大苦戦。解ければ、「ナーンダ」は何時ものこと。解けて大喜び、『単純な爺さん、ここにあり』です」

波多野賢太郎 「今回は中級に大半の時間を使いました。ヒントを見ても?だったので、これは白旗かと思いました」

■初級Aと中級が意外に難しかったかもしれません。易問と感じられた方と難問と感じられた方、今回は二分されました。

たくぼん 「お手ごろな難易度で楽しめる内容でした」

■たくぼんさんが企画されているWFP100  
記念号の一人一作展にも推理将棋が出題されて  
います。みなさま是非挑戦をお願いします。

はなさかしろう 「書店には来年のカレンダー  
と手帳。年賀推理将棋が気になる季節です」

■年賀推理将棋、作品募集中です。

-----  
推理将棋第106回出題全解答者： 19名

飯山修さん S.Kimuraさん 斧間徳子さん  
加賀孝志さん 小木敏弘さん 小山邦明さん  
隅の老人Bさん 諏訪冬葉さん 占魚亭さん  
たくぼんさん DD++さん 波多野賢太郎さん  
はなさかしろうさん 原岡望さん 布哇齋さん  
ほっとさん Pontamonさん 山下誠さん  
RINTAROさん  
-----

## 結果 詰めば都(最短手数探索)

一乗谷酔象

「さっきの将棋、どうだった？ 序盤から激しく駒を取り合っていたけど」

「最後に盤面に残った駒は4枚だけで、結局55地点で詰まされたよ」

「なんと。都で煙詰とは驚いたね」

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	龍	王	金	王	龍	科	皇	一
	飛						馬		二
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	三
									四
									五
									六
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
	角						飛		八
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	九

先手持駒 なし

後手持駒 なし

実戦初形から指し始め、下記条件 1), 2)を満たす最短の手順を求めよ。非限定は許容する。

・条件

1) 55玉が詰まされた。

2) 終図盤面の駒数は4枚。

※55玉の先後は不問。55玉が後手玉なら奇数手数、先手玉なら偶数手数で詰ますこと。

手数探索を楽しんでいただけましたでしょうか。解答者は4名でした。ありがとうございました。

解答者(敬称略)

Pontamon(45手)

はなさかしろう(45手)

井上順一(45手)

たくぼん(50手)

3名の45手は想定していた最短手数です。44手以下の超正解は現れず、出題者の用意した手数と解答者3名の手数が一致していることから45手が最短手数で間違いなさそうです。

◆ Pontamon 解(45手)

76歩 32飛 33角生 52玉 22角生 37飛生

31角生 27飛生 58玉 47飛生 23飛生 17飛生

53角生 19飛生 43飛生 29飛生 13飛生 39飛生  
11飛生 49飛生 21飛生 69飛生 41飛生 67飛生  
61飛生 87飛成 71飛生 76龍 81飛生 79龍  
91飛生 89龍 93飛生 99龍 83飛生 97龍  
73飛生 57龍 同玉 53玉 63飛成 44玉  
74龍 55玉 56金 まで45手。詰上り：図1

【図1】

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
		龍							四
			王						五
			金						六
			玉						七
									八
									九

Pontamon「WFP100回記念作なので、100手かと思いましたが初トライで56手。

まさかとは思いましたが、55玉が45手で詰んで、55+45=100が作意なのかと。その、まさかでした。どうにか11手短縮できましたので解答いたします」

◆ はなさかしろう 解(45手)

76歩 34歩 22角生 42玉 13角生 33玉

58玉 44玉 31角生 55玉 53角生 17香成

71角成 27成香 61馬 37成香 83馬 47成香

同馬 87飛生 23飛成 89飛生 21龍 99飛生

41龍 97飛生 81龍 67飛生 91龍 69飛生

93龍 49飛生 73龍 39飛生 63龍 29飛生

43龍 19飛生 34龍 79飛生 67玉 76飛生

56歩 同飛 同馬 まで45手。詰上り：図2

【図2】

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
						龍			三
			王						四
			馬						五
		玉							六
									七
									八
									九

はなさかしろう「私が見つけた中で最短は45手でした。42手未満は不可能なことは明らかですが、42～44手が不可能なのかどうか。面白い設問で、熱中しました。苦心の末45手を見出したところで44手ももしかしたら、と思いましたが、序がうまくつながらず断念しました。正解発表が楽しみです」

・参考解(46手)

はなさかしろう「斜一文字の46手解の手順を示します」

76歩 32飛 33角成 62玉 23馬 99角成  
 13馬 89馬 68玉 13香 77玉 17香成  
 同桂 37飛生 46歩 57飛生 66玉 27飛生  
 55玉 17飛生 21飛生 19飛生 31飛生 39飛生  
 41飛生 49飛生 43飛生 46飛生 53飛生 64歩  
 73飛生 67馬 83飛生 76馬 93飛生 87馬  
 91飛生 69馬 81飛生 79馬 71飛生 97馬  
 61飛生 73玉 64飛成 同馬まで46手。詰上り：図3

【図3】

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
		王							三
			龍						四
				玉					五
					飛				六
									七
									八
									九

◆ 井上順一 解(45手)

76歩 32飛 33角生 52玉 22角生 37飛生  
 31角生 27飛生 53角生 47飛生 23飛生 17飛生  
 21飛生 19飛生 11飛生 29飛生 13飛生 39飛生  
 43飛生 49飛生 58玉 69飛生 41飛生 67飛生  
 61飛生 87飛成 63飛生 76龍 73飛成 79龍  
 71龍 89龍 81龍 99龍 91龍 97龍  
 93龍 57龍 同玉 53玉 83龍 54玉  
 74龍 55玉 56金 まで45手。詰上り：図4

井上順一「詰上がりがこの形だと仮定すると、先手の必要最低限の手数は、駒取りに19手、玉の移動に2手かかる。ここで玉の移動の内1手は駒取りと兼ねる可能性があり、その場合計20手となる。そのほか駒取りにも、玉の移動にも

無関係の着手として、初手、龍を4段目に移動する手、最終手の3手が必要であり、最低23手となる。

【図4】

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
										一
										二
										三
			龍							四
					王					五
					金					六
					玉					七
										八
										九

後手の手数は、駒取りに18手、玉の移動に4手かかる。ここで玉の移動の内1手は駒取りと兼ねる可能性があり、その場合計21手となる。また駒取り、玉移動に無関係な着手が初手に必要であり、最低22手となる。なお後手は、76歩 52玉33角成 同角のようにすれば、駒取りにも玉移動にも無関係な手なしに始めることができるが、その場合駒取りを続けることができず、手数が長くなってしまふ。

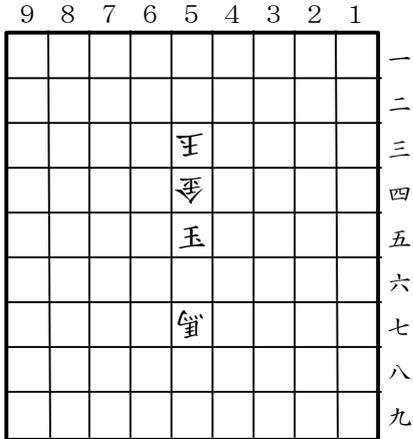
ということで、この詰上りを仮定した場合、45手は最短手数と思われる。駒取りでない手を如何に少なくするかという目標が明確なので、試行錯誤も楽しめた。馬1枚で無駄手なしに駒を取っていくのは無理なので、飛を使うことになるが、2手目3二飛戦法に思い至って手数短縮ができた。すぐ取られてしまう後手角以外の大駒は不成で使っており、また53角生をすぐには取らない手順もいい。53角生のところで58玉とし、任意の箇所でも53角生とすることもできるが、53同玉とはできないところがおもしろい」

◆ たくぼん 解(50手)

98香 34歩 68玉 44角 76歩 17角成  
 11角成 28馬 21馬 32金 同馬 19馬  
 31馬 29馬 13馬 39馬 23馬 49馬  
 34馬 27馬 43馬 37馬 61馬 42玉  
 71馬 47馬 81馬 69馬 77玉 79馬  
 66玉 89馬 55玉 98馬 91馬 97馬  
 82馬 87馬 93馬 76馬 83馬 67馬

73馬 57馬 63馬 43金 53馬 同玉  
 54歩 同金 まで50手。詰上り：図5  
 たくぼん「とりあえず50手ですが、予想はあと1手か2手短縮できそうな感じはします。  
 時間切れですね」

【図5】



◇解説

本問は実戦初形から”都煙”詰を目指す最短手数探索問題です。

都煙で終図盤面の駒4枚は、受け方の55玉1枚と攻め方の3枚（玉、王手を掛ける駒、逃げ道封鎖の駒）です。

・後手玉を55地点で詰ます場合、先後各々に必要な手は次の通り。

(A)先手番に必要な手

- a1) 角道を開ける初手76歩
- a2) 後手の玉以外19枚の駒を取る
- a3) 攻め駒の支えのため玉が7段目に上がる
- a4) 55玉の退路封鎖
- a5) 55玉への王手(最終手)

(B)後手番に必要な手

- b1) 序の2手目、4手目の手待ち
- b2) 最終盤面に残る駒以外、少なくとも先手の17枚の駒を取る
- b3) 55地点まで玉が移動する

・先手番に必要な手数は、a1)1手、a2)19手、a3)2手、a4)1手、a5)1手。これらを単純に加算すると1+19+2+1+1=24手。また、後手番に必要な手数は、b1)2手、b2)17手、b3)4手。単純に加算すると2+17+4=23手。無駄手なく駒取りを進めることができれば、先手24手+後手23手の47手が予想されます。

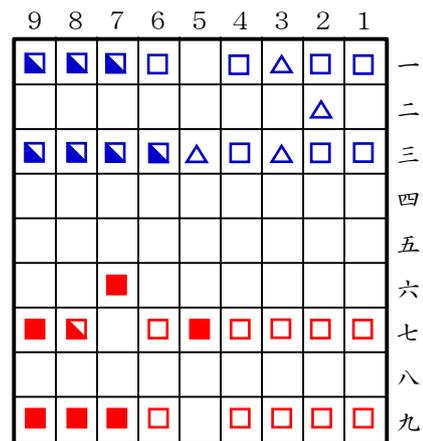
・更に手数を短縮するために工夫します。先手番ではa2)の駒取りの手をa3)あるいはa4)と兼用することが可能であり、後手番ではb3)の玉移動の手をb1)あるいはb2)と兼用することが可能です。このように先後とも一石二鳥の手を如何に手順に組み込むかが手数短縮の鍵となります。

・解答は後手番2手目の選択で大きく分かれてきました。

・△32飛～△52玉：Pontamonさんと井上さんは、「76歩 32飛 33角生 52玉 22角生 37飛生」の序を選び、先手飛角と後手飛が駒を連取りする手順を進めました。手の組み立て方は、井上さんが詳しくコメントされています。

大駒での連取りの軌跡を図6に示します。  
 先手角(△)：33～22～31～53、先手飛(□/▲)：23～43～13～11～21～41～61～71～81～91～93～83～73～63、後手飛(□)：37～27～47～17～19～29～39～49～69～67～87/成、後手龍(■)：76～79～89～99～97～57。連取り中は先手58玉と後手52玉に王手が掛からないよう玉の周囲を不成で進めるのがポイントです。後手飛は87地点で成って76龍とすればぴったり17枚の駒を取り切ることができます。先手飛は61地点通過後はどこで成ってもよく(Pontamon解：63飛成、井上解：73飛成)、最後まで不成(たとえば61～63～73～83～81～71～91～93の経路から43手目▲94飛生と四段目に不成)とする順も成立します。

【図6】

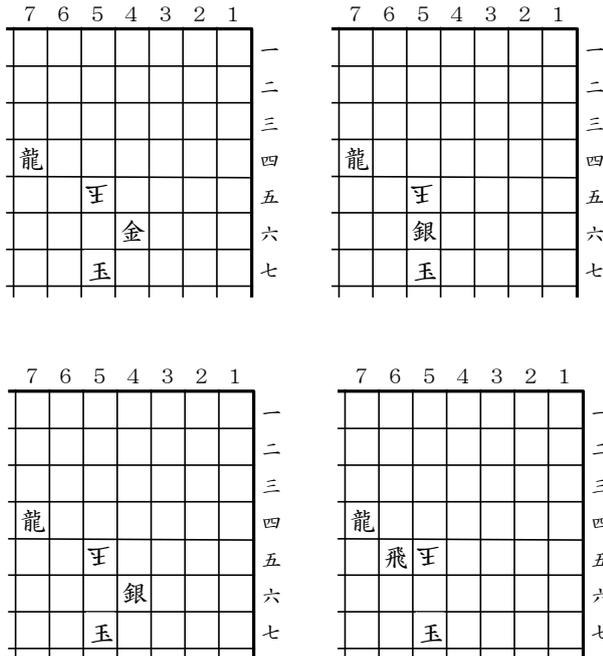


この手順構成では後手玉が53地点においた生角を取って計18枚の駒を取ります。後手の手数は、b1)2手、b2)18手、b3)4手が各々かかりますが、52玉と53玉が”一石二鳥”の手で、2+18+4-2=22手まで縮まりました。

変化の余地は多数ありますが、Pontamon解と井上解の43手目はいずれも74龍。終図の図1と図4は同一です。43手目74龍とする手順の最終手は、56金以外にも図7に示すように46金、56銀、46銀、65飛が成立します。

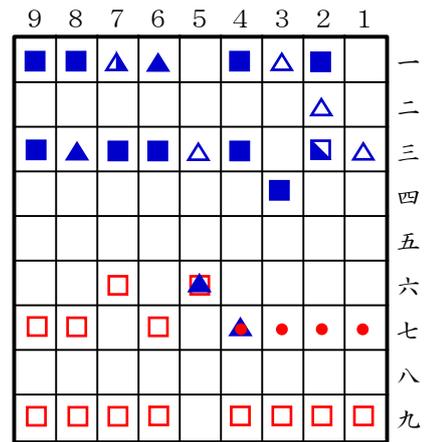
・△34歩～△42玉：はなさかさんは、「76歩 34歩 22角生 42玉 13角生 33玉 58玉 44玉 31角生 55玉 53角生 17香成」の序を選びました。序の10手目に後手玉が55地点に移動し、香で駒取りを進めていく独創的な序盤です。

【図7】



連取りの軌跡を図8に示します。先手角(△)：22～13～31～53～71/成、先手馬(▲)：61～83～47～56、先手飛/龍(□/■)：23/成～21～41～81～91～93～73～63～43～34、後手香/成香(●)：17/成～27～37～47、後手飛(□)：87～89～99～97～67～69～49～39～29～19～79～76～56。先手馬と後手成香の連係で後手飛頭を開けるのがポイントです。序の76歩と34歩も後手飛と先手龍で上手く取り切ります。最終手は駒打ちではなく、盤面の駒を活用する56馬で詰み。

【図8】

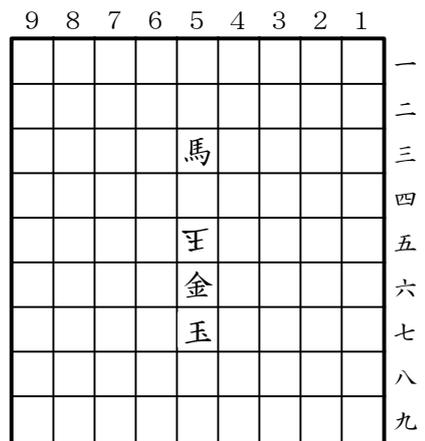


・▲98香～▲68玉：たくぼん解では先手55玉を50手で詰ませました。「98香 34歩 68玉 44角 76歩 17角成 11角成」と進める序盤は無駄手が含まれ、先後とも馬で駒取りをしたため手数に要しています。しかし、最終57馬・54金形の詰みは、歩を取った馬が55玉の退路を塞いでおり、実は効率のよい形です。

・53馬・56金型の45手解

76歩 32飛 33角成 52玉 22馬 37飛生  
58玉 27飛生 11馬 17飛生 23飛生 47飛生  
13飛生 49飛生 43飛生 39飛生 41飛生 29飛生  
61飛生 19飛生 21馬 69飛生 31馬 67飛生  
71飛生 87飛成 81飛生 76龍 91飛生 79龍  
93飛生 89龍 83飛生 99龍 73飛生 97龍  
63飛生 57龍 同玉 63玉 47金 54玉  
53馬 55玉 56金 まで45手。詰上り：図9

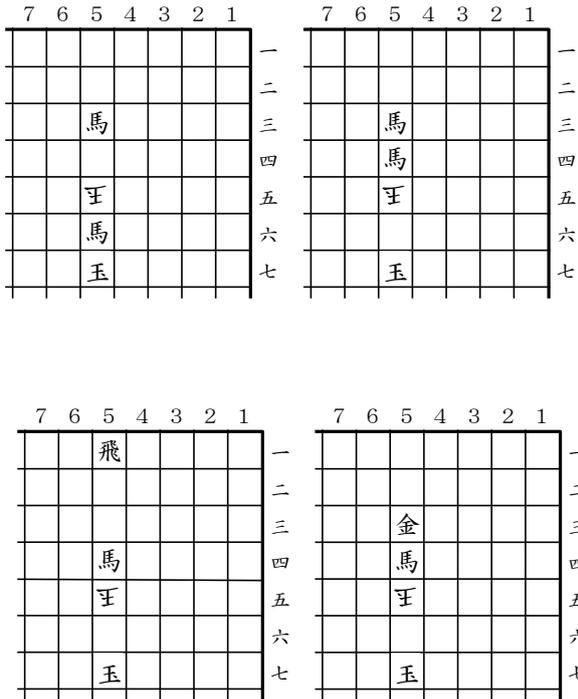
【図9】



この手順中、41 手目 47 金は省略しても 45 手目に 56 金と打つことができます。すなわち、先手は 1 手無駄手を指すことができるのです。実質 44 手で詰んでいるのですが、実際に 44 手で後手番が先手 55 玉を詰ますのは、序盤の手の繋ぎ方が難しく、無理のようです。

・馬を残す 45 手の詰み形は、先手方に 1 手の余裕があるので 53 馬-56 金型のほか、図 10 に示す 53 馬-56 馬型、53 馬-54 馬型、51 飛-54 馬型、53 金-54 馬型なども可能(手順は省略)です。

【図 10】



・今回の探索問題、種々の手段があり、出題者としても都煙の探索を楽しみました。探索の結果、出題時の想定手数もいただいた解答のいずれも 45 手であり、45 手が最短手数との結論です。

45 手解の手順には先手の無駄手を 1 手含む解もあり、44 手以下の解が絶対ないとも言い切れません。もし、45 手未満の超正解を発見された方はご連絡ください。

45 手解の手順限定版を年賀推理将棋として追加出題しています。解答よろしくお願ひします。

フェアリー詰将棋とプログレッシブ・ロックは私の長年の2大趣味である。

どちらも、強固な基盤（詰将棋、ロック）の上で、ほとんど無節操とも言える自由な展開を楽しむものである、という共通の構造を持っていて、これが、与えられた条件下で最大限の結果を導くことに喜びを感じる私の嗜好に、まったく合致しているのである。

私の関わり方は、しかし対照的である。フェアリーは創って発表するだけであり、一方プログレは発表されたものを聴くだけだ。

自然、フェアリーには散々プログレを持ち込むことになり、いくつかのフェアリー作品にはプログレのバンド名や曲名をそのまま命名したこともある。作品集『神話大全』や『新約・神話大全』では、編集者という立場を利用して様々なプログレ趣味を導入した。タイトルも、カナダを代表するバンドのライブアルバムの邦題を下敷きにしている。そしてこの雑文しかり。

逆に、プログレへのフェアリー導入はどう考えても無理な状況だったのだが、そのチャンスは突然訪れ現実のものとなった。以下その顛末。

昨年10月、デビュー以来のファンであるアストゥーリアスという日本のバンドのライブに家族で行ったときのことである。バンドマスターの大山さんから、次回作のタイトルの邦題募集の告知があった。正確には漢字2文字のプログレっぽいタイトル募集だったのだが。

プログレ隆盛期は1970年代前半。当時のアルバムには英語の原題を意識した邦題がつけられることがあった。例えばこんな感じである。

Yes - Close to the Edge／危機

Yes - Going for the One／究極

Pink Floyd - Dark Side of the Moon／狂気

Pink Floyd - Atom Heart Mother／原子心母

これらはもう奇跡的な名訳としか言いようがない。逐語訳もまたすばらしい。

大山さんは私と同世代であり、「邦題」に関しても同じ感覚に違いないと思いながら文末の案を応募したところ、翌日には返事が届いた。

「どれも素晴らしいですが「極光」にしびれました！次作に入らなければ、いつか必ず作りたいと思わせるインパクトでした」

翌日の反応といい、相当気に入ってもらえたことは分ったが、ストックされる可能性も十分に

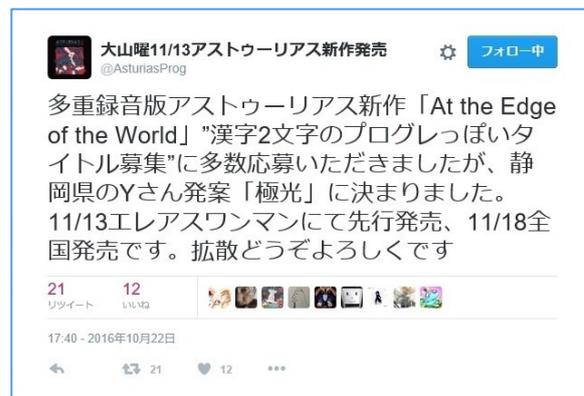
あるということだとそのときは思った。

そして、今年の7月に採用通知が届き、そこには意外な言葉が添えられていた。

「つきましては、CDのクレジットにお名前を入れさせていただきたいのですが、英語表記でどう入れたらいいか、ご指示いただければと思います。ひょっとして、Taro Kaminashi と入れた方がいいのかとも思いまして確認のメールを差し上げた次第です」

『新約・神話大全』の表紙に室内楽編成のアストゥーリアスのクラリネット奏者である筒井さんの絵を使わせてもらった関係で、大山さんにも『新約・神話大全』を謹呈しており、神無太郎の名前もご存じだったのだ。さすがに読み方までは押さえられてはいなかったようだが。いずれにしても、あのアストゥーリアスのCDに神無太郎の名前が刻まれることになったのである。ついに逆方向も成立である。嫁さんも娘も半ば呆れながら喜んでくれた。

10月には大山さんがTwitterで新作タイトルを公表。



たくぼんさんと神無八級さんに連絡したところ、二人揃って上田吉一さんの『極光』への言及があった。まったく意識していなかったのだが、むしろ詰将棋人としては当然のことか。

英語のタイトル「At the Edge of the World」は、漢字タイトル募集の前に決まっていたそう。そういう事情を知らずに応募したので、「極光」がたまたまこの英語タイトルの意識？になっていると思ってもらえたのは、まったくの偶然だったということである。運が良かったとしか言いようがない。

今月に入ってすぐ、完成したばかりの『極光』を大山さんから直々に送って頂いた。

// Mastering Engineer: KAORI TSUTSUMI // Mastered  
016 // Special Thanks: ZIZZ STUDIO, SHUNICHIRO  
KOHNO, SHIGEMI YAMASHITA aka TARO KAMINA

このクレジットがなんともうれしい。

収録曲は、1. 大気、2. 漂雲、3. 曠野、  
4. 深淵、5. 試練、6. 懐郷、7. 暁光、8. 残  
光、9. 世界の果て、10. 意志。「極光」に結び  
つかないこともないだろうとは思いますが、事前に  
この曲名を知っていたとしたら、「極光」を応募  
することは絶対になかったとも思う。結局のと  
ころ、「邦題」に関する感覚は大山さんとはだい  
ぶ違っていただろう。”Chance favors the  
prepared mind”ということなのだろう。準備し  
続けていて良かった。

つい先日、『極光』発売記念ライブに家族で行  
ったときのことである。大山さんがライブ途中  
で「極光」は将棋の専門家(!)である静岡県の  
Yさん案を採用した、差支えなければ前に来  
て欲しいと言われたが、ご遠慮申し上げた。の  
ちほど写真のようなグッズをいただき恐縮して  
いる。



ライブには家族で行くと言ってあったので、お  
菓子も用意されたのではないかと思う。余計な  
気遣いをさせてしまったようだ。

三部作の完結編となる次回作もすでに製作中  
とのこと。また何かの形で関わればと思う。

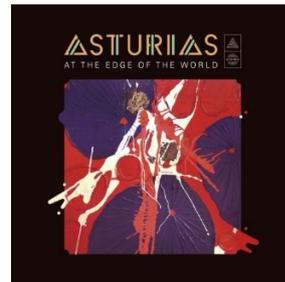
#### ◆アストゥーリアスのアルバム一覧

1988 : Circle in the Forest (M)  
1990 : Brilliant Streams (M)  
1993 : Cryptogam Illusion (M)  
2004 : Bird Eyes View (A)  
2006 : Marching Grass on the Hill (A)  
2008 : In Search of the Soul Trees / 樹霊 (M)  
2011 : Legend of Gold Wind (A)  
2011 : Fractals (E)

2014 : Elementals (E)

2015 : Missing Piece of My Life / 欠落 (M)

2016 : At the Edge of the World / 極光 (M)



M : 大山さん個人による多重録音、一部パート  
はゲスト奏者

A : バイオリン、クラリネット、ガットギター(大  
山さん)、ピアノの室内楽編成

E : エレキバイオリン、ギター、ベース(大山さ  
ん)、キーボード、ドラムのロックバンド編成

#### ◆漢字2文字のタイトル案応募文面

「欠落」続作タイトル案を考えてみました。

① 「万象 (ばんしょう)」 / The Universe of  
Things

「欠落」の続作ということで、タイトル間の関  
連性(対比性)から。

欠けている⇔欠けていない=ありとあらゆるも  
の、というつながり。

英語タイトルは、最近よく言われている、IoT  
(Internet of Things) から。サーバやPC、ス  
マホなどの情報機器のみならず、TVなどの家電  
や監視カメラ、各種センサなど、インターネット  
につながる、ありとあらゆるものを表す言葉  
になぞらえて、この世のありとあらゆるもの  
という意味のつもりです。

② 「極光 (きょっこう)」 / Northern Lights,  
Southern Lights

純粹にプログレという語の持つ(割りと一般的  
と思われる)下記のイメージから。

- ・融合(太陽と地球の相互作用)
- ・孤高(上空に現れる)
- ・変幻自在(形が常に変わる)
- ・絢爛(様々な色)

英語タイトルはやや直截的過ぎますかね。

③ 「都市 (とし)」 / Modernistic Caves

純粹にプログレという語の持つ(多分に個人的  
な)下記イメージから。

- ・先進
- ・複合
- ・成熟

・洗練

英語タイトルは、アシモフの「鋼鉄都市（こうてつとし）」／The Caves of Steel を意識しています。Cave には快適な空間という意味もあるようです。

ただ、これまでのアストゥーリアスのアルバムタイトルとはだいぶ趣が違ふ気はします。イエスのジャケットで言うと「究極」並みですかね。

④ 「饗演（きょうえん）」／Orchestral Resonance

様々な楽器の様々な演奏スタイルの組み合わせで成立しているというマルチアスの音楽的背景から。

ちょっと一般的過ぎるでしょうか。

## 解答募集締切一覧

ネットでのフェアリー詰将棋の解答募集締切一覧です。締切日が早いもの順です。解答先は各々異なりますのでお間違えにないように。

### 2016年12月10日(土)

1人1局作品展 神無太郎

### 2016年12月15日(木)

#### 第85回 WFP 作品展

フェアリー作品 12題  
(特別出題含む)

1人1局作品展 はなさかしろう  
1人1局作品展 sogas  
1人1局作品展 たくぼん  
1人1局作品展 Pontamon

### 2017年1月5日(木)

1人1局作品展 上谷直希  
1人1局作品展 小林看空  
1人1局作品展 若林  
1人1局作品展 神無七郎  
1人1局作品展 北村太路

### 2017年1月10日(月)

1人1局作品展追加 一乗谷酔象

## 2017年1月15日(日)

### 第86回 WFP 作品展

フェアリー作品 11題

## 作品募集一覧

### ちょっと早い2017年年賀詰作品展

新年に向けての作品を募集します。ちなみに来年はトリ年です。作品はフェアリー、推理将棋など自由に(締切:12/15)

投稿先は takuji@dokidoki.ne.jp (たくぼん)

## あとがき

今月お休みとなった WFP 作品展の解答締切は85回が1ヶ月延長して12月15日となります。86回につきましては神無一族の氾濫の解説等があるためにどうなるかが今時点では未定となっております。七郎さんよりはっきりしたスケジュールが入り次第、紙上にて発表しますのでよろしくお祈りします。

100号記念の1人1作作品展の解答発表第1号が一乗谷酔象さんの手順探索問題となります。現在は速報版ですが、次回更新時に結果を追加する予定となっておりますのでしばらくお待ち下さい。

100号を通過し新たなスタートとなりますが今後ともよろしくお祈り致します。

たくぼん

2016年 第101号

### Web Fairy Paradise

非売品

平成二十八年十一月号

平成二十八年十一月廿日発行

発行所 愛媛県新居浜市

発行兼編集人 須川卓二

発行所 Web Fairy Paradise 編集部

問合先 takuji@dokidoki.ne.jp